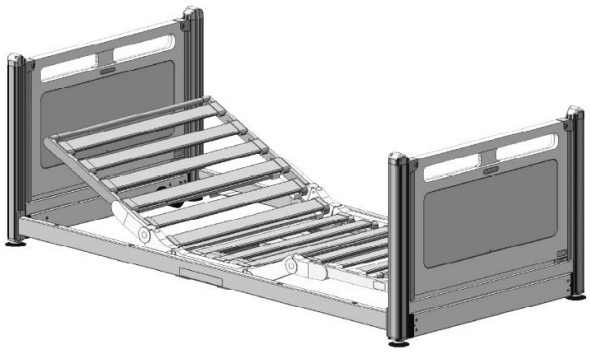
フランスベッド

取扱説明書

854060-8901

フロアーベッド

FLB-05R2　　FLB-05R2S
FLB-05R　　FLB-05RS



まえがき

このたびはフランスベッドの製品をお買いあげいただきまして、ありがとうございます。

この取扱説明書には、製品を安全に使用していただくための、注意事項と使用方法を記載しています。

- 安全のため、必ずこの取扱説明書をよく読み、内容を十分理解してから使用してください。
- 取扱説明書を読んだ後は、いつでも必要なときに取り出せるよう、所定の場所に保管してください。

ベッド本体以外の取扱商品について

- ベッド本体以外のベッド用グリップなど、オプション品については、オプション品に同梱されている取扱説明書をよく読み、内容を十分理解してから使用してください。
- 取扱説明書を読んだ後は、いつでも必要なときに取り出せるよう、ベッド本体の取扱説明書と一緒に、所定の場所に保管してください。

目次

			ページ
1.	安全のために必ずお守りください	・・・・・・・・	2
2.	使用目的と各部の名称	・・・・・・・・	8
3.	部品の確認	・・・・・・・・	9
4.	ベッドの設置	・・・・・・・・	12
5.	ベッドの組立手順	・・・・・・・・	13
6.	設置後のベッドの移動方法	・・・・・・・・	23
7.	使用方法	・・・・・・・・	24
8.	リフトの利用について	・・・・・・・・	30
9.	サイドレールとベッド用グリップについて	・・・・・・・・	31
10.	ベッドフレームの分解方法	・・・・・・・・	40
11.	仕様	・・・・・・・・	41
12.	お手入れ方法（清掃・消毒）	・・・・・・・・	43
13.	点検	・・・・・・・・	45
14.	こんなときには	・・・・・・・・	46
15.	停電により停止したときに	・・・・・・・・	49
16.	アフターサービスについて	・・・・・・・・	50
17.	保証書	・・・・・・・・	51

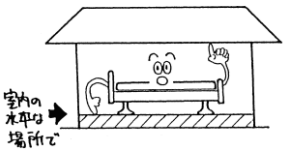
1.　安全のために必ずお守りください

絵表示について

　この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しく使用していただき、使用者への危害や財産への損害を未然に防止するために下記の絵表示をしています。
　その指示と内容は、次のようになっています。
内容をよく理解してから本文を読んでください。

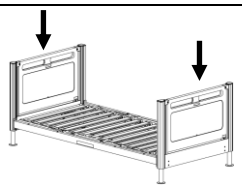
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が生命に関わるケガを負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。
	この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 （～しないでください）
	この記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 （～してください）
	この記号は、絵表示に対する行為を禁止する内容を告げるものです。

設置する時

⚠注意		
ベッドの組み立て、分解は必ず弊社サービスマン、または販売店におまかせください。 ご自身で組み立て、分解すると重大な事故の原因となります。		
部屋の中でコンセントの位置、家具の引出し、扉などの開閉などに支障がないことを確認してください。 ベッドを組み立ててからの移動は困難になります。		
ベッドは、突起物のない水平な場所で、室内の環境で使用してください。 平坦な場所以外、屋外、風呂場などで使用するとガタツキ、変形、故障、事故の原因となります。		
ベッドの重量に十分耐えられる床の強度を確保してください。また、床の材質によっては、ベッドフレーム設置面が傷つくことがありますので、極力カーペット類を使用して、床面の保護を行ってください。		

ヘッドボード、フットボードは確実に下まで差し込んでください。

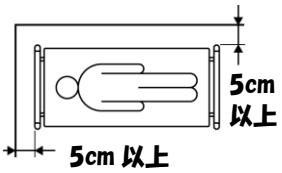
思わぬ時に動いてケガをする恐れがあります。



ベッドは、周囲の壁や家具などの障害物から離して置いてください。ベッドの周囲にモノを置かないでください。

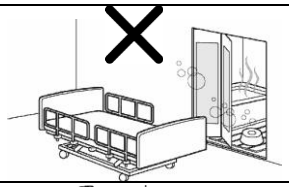
- ベッドの頭側／脚側（長手方向）：　５㎝ 以上
- ベッドの両側（サイド）　　：　５㎝ 以上

ベッドの動きにより周囲のモノを破損したり、事故や故障の原因となります。



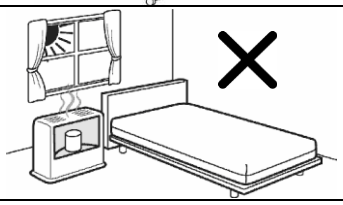
高温、多湿な場所は避けてください。

反り、曲がり、サビ、カビ発生、破損などの原因になります。



直射日光やエアコンからの風が直接当る場所は避けてください。また、ストーブなどの熱器具、および火種になるモノはベッドの近くに置かないでください。

変形、変色、劣化、火災の原因になります。



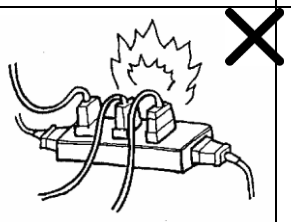
必ずベッドの仕様に合った、弊社製のサイドレール、ベッド用グリップ、マットレスを使用してください。本取扱説明書に記載されている適合するサイドレール、ベッド用グリップ、マットレスを確認してください。

電源コードの上に重いモノを載せたり、コードがベッドの下敷きにならないようにしてください。

コードに傷がついて、火災、感電の原因となります。

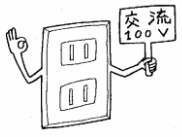
電源プラグは直接コンセントに差し込み、コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続（たこ足配線）しないでください。

火災の原因になります。



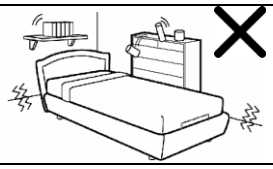
AC100V、50／60Hz 以外の電源で使用しないでください。

火災、感電の原因となります。



ベッド設置場所の上部に落下物を置かないでください。

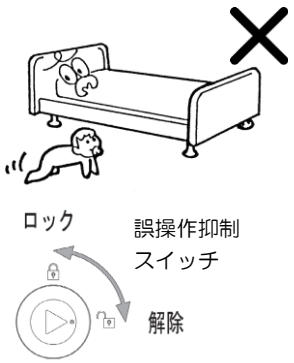
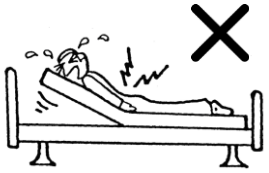
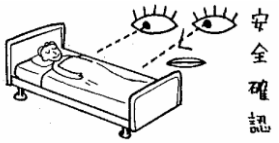
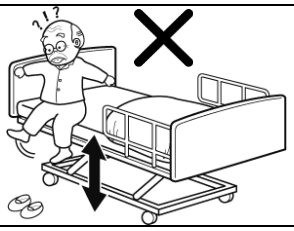
地震時などに落下物でケガをする原因になります。

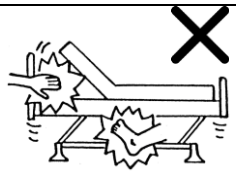
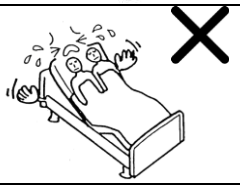
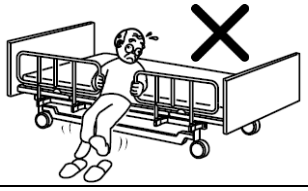


ベッドの電源は工具でコントロール BOX より取り外し可能ですが、本ベッド専用となりますので、他の機器に使用しないでください。また、本機器に付属の電源コード以外のものをコントロール BOX に差し込んで使用しないでください。

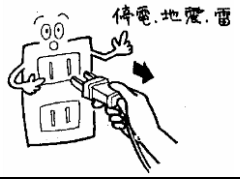
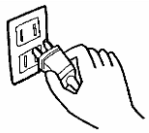
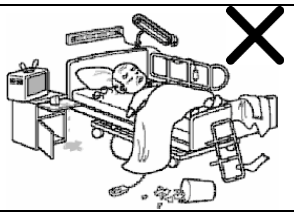
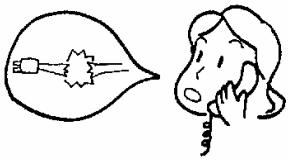
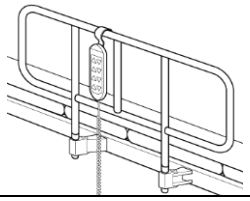
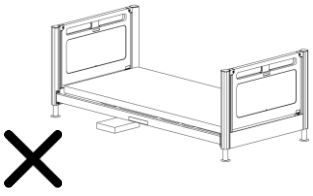
故障の原因となります。

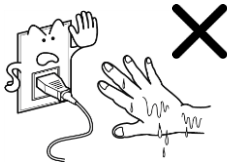
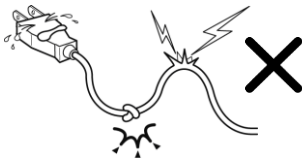
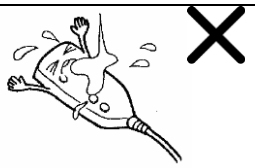
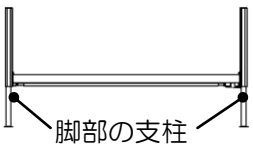
使用する時

⚠警告	
症状によっては、ベッド操作（背上げ、脚上げ、上下昇降）をすることにより、症状を悪化させる可能性があります。使用に際しては、医師の指示に従ってください。 事故の原因となります。 	
子供をベッドの近くで遊ばせないよう注意してください。また、子供のいたずらに注意してください。手元スイッチは、子供の手の届かない場所に置いてください。 子供が操作することが想定される場合は手元スイッチ裏側の誤操作抑制スイッチを「 🔒 」（ロック）にしてください。 思わぬ事故の原因となります。 	
背上げ操作は、寝ている人の頭がベッドの背上げ側にくるようにして、仰向けに寝た状態で行ってください。 これ以外の姿勢では、寝ている人の身体に無理がかかります。 	
手元スイッチでベッドの操作をする時には、使用者やベッド周辺、ベッドの下部、周辺の人やモノの安全を確認するとともに、足元などにも注意しながら行ってください。 また、なんらかの危険を感じた時には、すぐに操作を中止してください。とくにサイドレール、ベッド用グリップを使用の際は十分に注意してください。 人がケガをしたり、モノが破損するなど、事故の原因となります。 	
移乗させる際はベッドの高さを適切な高さに調整して使用してください。 思わぬケガをする恐れがあります。	
ベッドの高さは適切な高さに調整して使用してください。端座位姿勢のとれる高さ、もしくは低めの位置での使用をおすすめします。 ベッドの高さが合っていないと、乗り降りの際に転倒する恐れがあります。 	
手元スイッチのボタン操作が確実にできない人、または身体の状況などの変化により、ボタン操作が確実にできなくなると思われる人には、操作をさせないでください。 誤った操作による事故の原因となります。	

このベッドは大人用です。12 歳以下の子供、新生児、幼児などは使用しないでください。 また、取扱説明書、各注意ラベルの内容が理解できない人には使用させないでください。 思わぬ事故の原因となります。		⊘
ベッドの下や、起き上がったボトムとフレームの間に身体を入れないでください。 挟まれてケガをする恐れがあります。		⊘
サイドレールやヘッドボード、フットボードに腰掛けるなど、必要以上の荷重を加えないでください。 破損したり、ケガをする恐れがあります。		⊘
ベッドの上で飛び跳ねたり、背上げ・脚上げ状態で立ったり、腰掛けたりしないでください。 破損したり、ケガをする恐れがあります。		⊘
本製品は 1 人用です。2 人以上で使用しないでください。 重大な事故の原因になります。		⊘
モーターの定格時間は 2 分です。それ以上は連続して使用しないでください。次に使用する時は、十分な時間をおき、モーターが冷えてから使用してください。 故障の原因となります。		⊘
サイドレールやベッド用グリップのすき間にコード類を入れないでください。 背上げなどベッドの操作をするときに、コード類を挟み、事故や破損の原因となります。		⊘
使用荷重は最大 1700N（約 170kg）です（使用者の最大体重は約 135kg です）。体重とマットレスと付属品を含めた荷重が 1700N を超えるときは、使わないでください。 ベッドの破損や重大な事故の原因となります。	1700N 以下 	⊘
ベッドおよびサイドレール、ベッド用グリップは、破損した状態で使用しないでください。 重大な事故の原因となります。		⊘
サイドレールやベッド用グリップの間から無理に降りたり乗り越えたりすることは絶対にしないでください。 重大な事故の原因となります。		⊘

使用する時

⚠注意	
動作しないなど異常の時は、電源プラグをコンセントから抜き、本取扱説明書の「こんなときには」の項目をチェックしてください。チェックしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お客様相談室に修理を依頼してください。	
電動操作を長期間行わないときや、停電、雷、地震の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのままにしておきますと、事故や故障の原因となります。 	
電源プラグをコンセントから抜く時は、電源コードを引っ張らずに、必ず先端のプラグを持って抜いてください。 コードが傷つくと、火災、感電の原因となります。 	
ベッドの周辺を定期的に整理、整頓してください。 ベッドの周辺が乱れていると思わぬケガの原因となります。 	
電源コードが傷んだり（芯線の露出、断線など）、動かないなど、異常の時は電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お客様相談室へ連絡してください。 そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。 	
手元スイッチのボタンは、必要な操作に合わせて１つずつ押してください。 複数のボタンを同時に押したり、不必要なボタンを押すと思わぬ動きをし、乗っている人や周囲の人がケガをする恐れがあります。	
手元スイッチを使用しないときは、ヘッドボードの外側やサイドレールやベッド用グリップの外側にかけてください。 ベッドの上やヘッドボード、サイドレールやベッド用グリップの内側などは無意識に触れて誤動作する恐れがあります。 	
リフトは手元スイッチの昇降動作用下降ボタンで下がる24ｃｍ以上で使用してください。 フロアーポジションボタンを操作してベッドを 24ｃｍ以下に下げると床面とベッドのすき間がほとんどなくなります。リフトを挟んでケガやベッドの故障の原因となります。	
ベッドの高さを床まで下げるときは、もう一度ベッドの下にモノや体の一部がないことを確認してから操作してください。 ケガや故障の原因となります。 	

頭側もしくは脚側から介助する場合は、必ずヘッドボード、フットボードを取り外してから行ってください。 ヘッドボード、フットボードに負荷がかかり、ベッドが破損する恐れがあります。 ヘッドボード、フットボードの取り外し方法については、後述する「7-5. ヘッドボード、フットボードの脱着」の項目を参照してください。	
ベッドの上で、喫煙をしないでください。 破損、火災の原因になることがあります。 	
濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。 感電する恐れがあります。 	
電源や手元スイッチのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねたり、挟み込んだり、巻きつけたり、加熱したりしないでください。 コードが破損して、火災、感電の原因となります。 	
モーターや手元スイッチ、その他の電気部品に水やジュースなどの液体をこぼさないでください。 故障や事故の原因となります。 	
ヘッドボードやフットボードを持ってベッドを無理に引きずらないでください。 フレームがゆがんでベッドの故障の原因となります。	
手元スイッチのボタンを必要以上に強く押したりしないでください。 ボタンが破損するなど故障の原因となります。	
手元スイッチを落としたり、引きずったり、強引に引っ張ったりしないでください。 故障の原因となります。	
ヘッドボードユニット、フットボードユニットの脚部の支柱にはグリスが塗布されています。脚部の支柱に直接触れないようにしてください。 手や衣服などが汚れる恐れがあります。 	

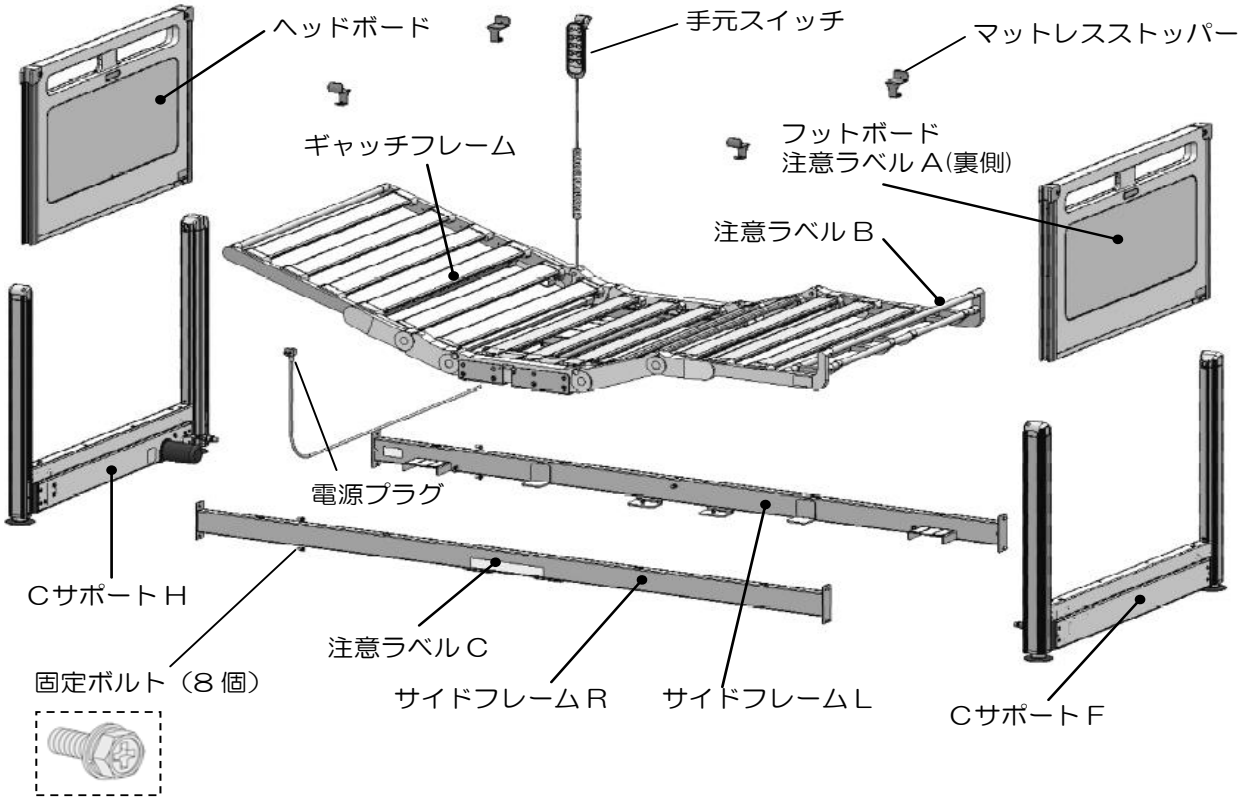
2.　使用目的と各部の名称

使用目的

- このベッドはご家庭において介護が必要な方の動作をサポートし、介護する方の負担を減らすことを目的としています。
- フロアーベッドはボトム最低高さをより低くすることで、ベッドから落下した際の衝撃を緩和します。

各部の名称

- ベッドには、図のように注意ラベルがあります。使用前に位置と内容を確認してください。



- 注意事項の中で特に注意していただきたい項目を表示してあります。
- はがしたり、傷つけたり（汚したり）しないでください。

注意ラベル A

⚠ 警　告

- 頭、腕及び足をサイドレールから出したまま背上げ、脚上げ操作をしないで下さい。
- 各部を操作する時はフレームに身体、手足、指を挟まないように注意して下さい。
- サイドレール及びベッド用グリップは、必ず取扱説明書に記載のものを使用して下さい。
- 背上げや脚上げ状態で、背部や脚部に立ったり腰掛けたりしないで下さい。
- このベッドは一人用です。二人以上でお使いにならないで下さい。
- 安全使用荷重は約１７００Ｎ（約１７０ｋｇ）です（使用者は約１３５ｋｇ）。それを超える荷重で使用しないで下さい。
- 幼児や取扱説明書、警告ラベルの内容が理解できない人には操作をさせないで下さい。
- 分解、改造はしないで下さい。

注意ラベル B

⚠ 注意

本ユニットは 20kg 以上のため、
２人以上で取り扱ってください。

注意ラベル C

⚠ 注意

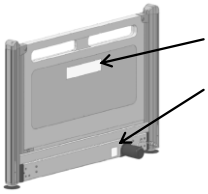
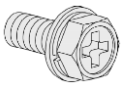
ベッドの高さを下げる時はモノや体の一部がベッドの下にない事を確認してから操作してください。

ケガやベッドの故障の原因となります。

3.　部品の確認

- 梱包箱の中から部品を取り出した後、部品がそろっていること、破損がないことを確認してください。
- もし、足りないものや、破損している部品があった場合は、販売店に連絡してください。
- 最小のユニット単位で部品に商品ラベルが貼られています。商品ラベル名称を確認してください。
- 本製品の本体ならびに取扱説明書に記載しております組み合わせ（本体ならびにサイドレール、ベッド用グリップ）で使用してください。

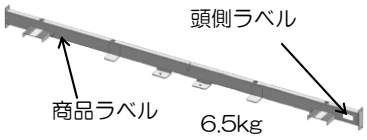
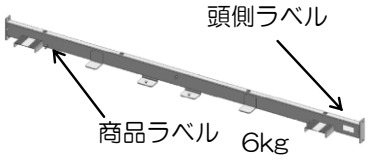
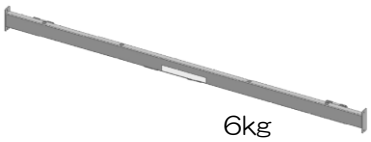
C サポート、ヘッドボード、フットボード（ハイローユニット）

梱包名称	部品名称	図	数量	梱包サイズ（mm）／重量	型式組合せ			
					FLB-05R2	FLB-05R	FLB-05R2S	FLB-05RS
フロアーベッド FLB-05R HBFB	C サポート H ヘッドボード（ヘッドボードユニット）		1	1065×770×315 ／41（kg）	○	○	○	○
	C サポート F フットボード（フットボードユニット）		1					
	固定ボルト（M6 ボルト）		8					
	スパナ（対辺 10mm）		1					

ギャッチフレーム

梱包名称	部品名称	図	数量	梱包サイズ（mm）／重量	型式組合せ			
					FLB-05R2	FLB-05R	FLB-05R2S	FLB-05RS
フロアーベッド FLB-05R フレーム	ギャッチフレーム		1	2005×980×210 ／30（kg）	○	○	－	－
	マットレスストッパー		4					
	取扱説明書		1					
フロアーベッド FLB-05R フレームS	ギャッチフレームS		1	1865×980×210 ／29（kg）	－	－	○	○
	マットレスストッパー		4					
	取扱説明書		1					

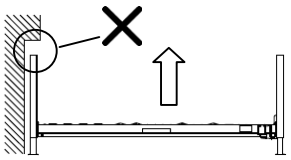
サイドフレーム

梱包名称	部品名称	図	数量	梱包サイズ（mm）／重量	型式組合せ			
					FLB-05R2	FLB-05R	FLB-05R2S	FLB-05RS
フロアーベッド FLB-05R SF	サイドフレームR		1	2080×140×130 /14（kg）	○	○	－	－
	サイドフレームL		1					
フロアーベッド FLB-05R ショート SF	サイドフレームRS		1	1940×140×130 ／13（kg）	－	－	○	○
	サイドフレームLS		1					

手元スイッチ

梱包名称	部品名称	図	数量	梱包サイズ（mm）／重量	型式組合せ			
					FLB-05R2	FLB-05R	FLB-05R2S	FLB-05RS
フロアー05R 8Bテモトスイッチ	HRT-F3	0.3kg	1	320×110×110 ／1（kg）	－	○	－	○
フロアー05R 6Bテモトスイッチ	HRT-F2	0.3kg	1	320×110×110 ／1（kg）	○	－	○	－

4.　ベッドの設置

⚠注意	
床の材質によっては、組み立て時に床面が傷つくことがありますので、ダンボール材や敷物などを敷いて床面の保護を行ってください。	
組み立ての際には、ケガなどに十分注意して作業を行ってください。	
壁に設置してある棚などの突起物のないところに設置してください。 ベッドの高さを上げる際、突起物にぶつかり、ケガや製品の故障の原因となります。 	
組み立ての際には、部品の上に乗らないでください。 部品の変形や破損の原因となります。	

- 組み立てを行う前に、「1．安全のために必ずお守りください」、「2．使用目的と各部の名称」、「3．部品の確認」をよく読んでください。
- ベッドへの乗り降りやベッドからの移動、また壁やコンセントの位置を考え、あらかじめベッドの頭側、脚側の方向および配置を決めておきます。

5.　ベッドの組立手順

（ベッドを組み立てる前にご確認いただくこと）

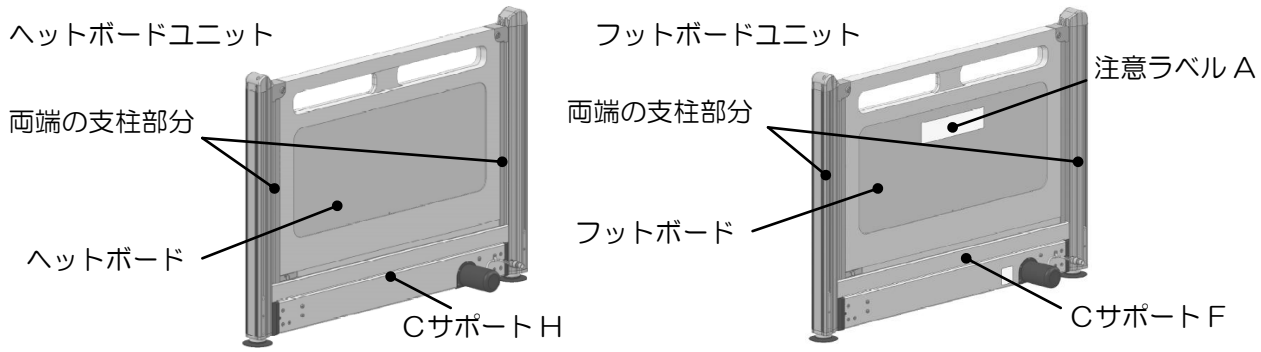
- 組み立ては必ず２名以上で行ってください。
- 使用できる電源コンセントの位置を確認します。組み立て作業には電源が必要です。
- 設置場所を確認します。電源コードは脚側にあるコントロールボックスから 3.5m の長さがあります。窓枠、棚、電源プラグなどの突起物がないこと、床面が水平であることを確認してください。
- サイドフレームなど長い金属部品があるため床、壁、家具などの傷付けに注意してください。
- 組み立て工具の紛失に注意してください。

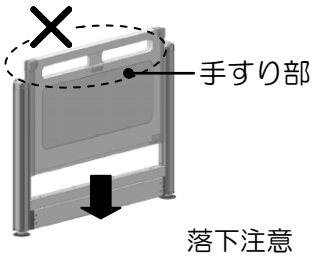
5-1．ヘッドボードユニットとフットボードユニットにサイドフレームを取り付ける

ベッドの組み立てはヘッドボードユニット、フットボードユニットの高さが一番低い状態で行ってください。

（ヘッドボードユニットとフットボードユニットの準備）

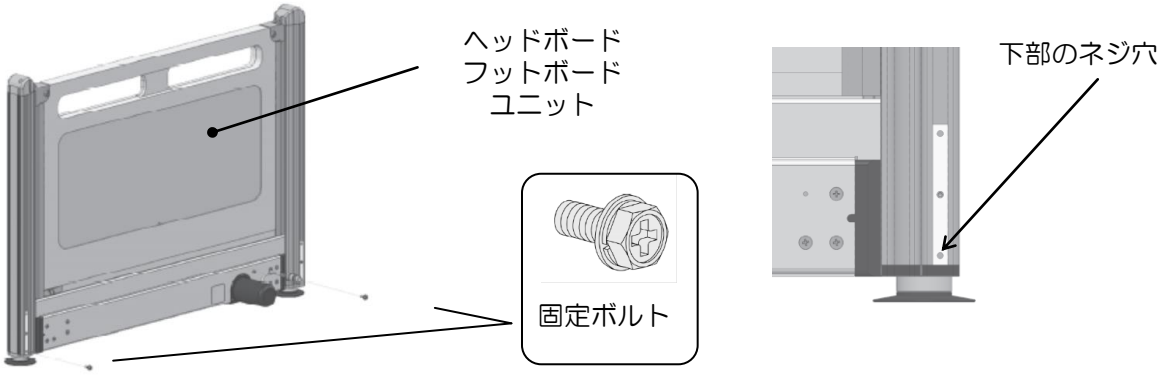
ヘッドボードユニットとフットボードユニットを箱から取り出します。ヘッドボードユニットは、C サポート H とヘッドボードの部品で構成されています。フットボードユニットは、C サポート F とフットボードの部品で構成されています。



⚠注意		
ヘッドボードユニット、フットボードユニットを持ち運ぶ時に、真ん中の部分を持つと C サポートが抜け落ちる可能性があります。運ぶ時は必ず、両端の支柱部分または、C サポートの部分を持つようにしてください。 ケガ、製品の故障の原因となります。		

（ヘッドボードユニットとフットボードユニットへの固定ボルトの仮止め）

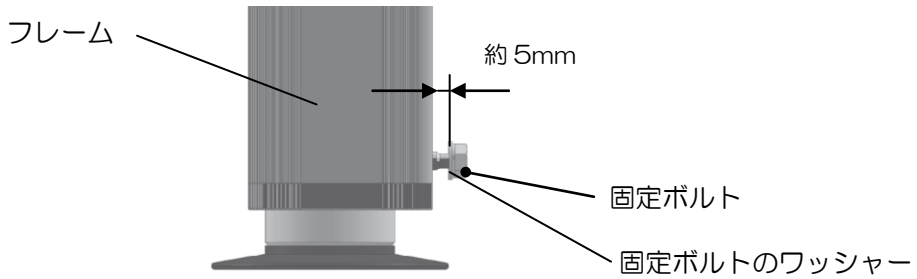
固定ボルトをヘッドボードユニットの下部のネジ穴２ヶ所に仮止めします。



同様の手順で、フットボードユニットの下部のネジ穴２ヶ所に仮止めします。

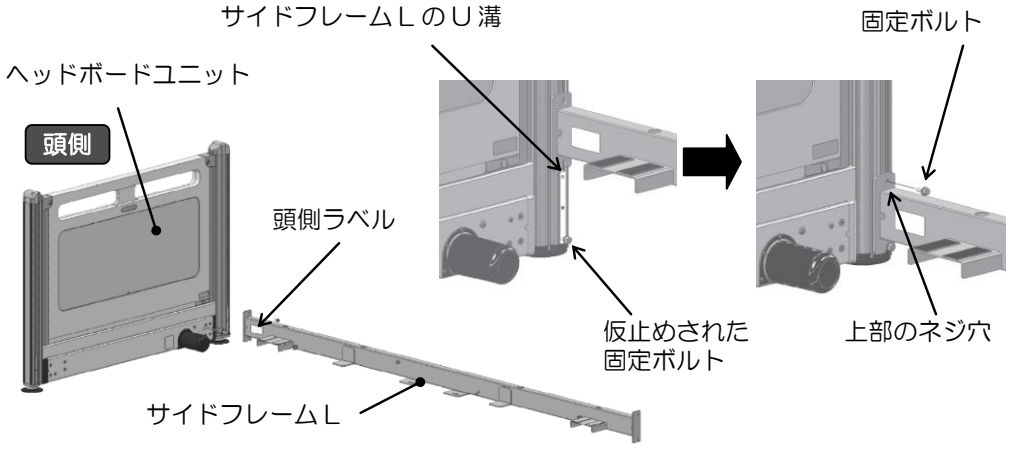
（固定ボルト仮止めのポイント）

仮止めの際に、固定ボルトのワッシャーとフレームの間をサイドフレームのＵ溝があるプレートが入る隙間（約 5mm）のすき間を空けてください。その後に取り付けるサイドフレームのＵ溝が入りやすくなります。



（ヘッド/フットボードユニットにサイドフレーム L/R を取り付ける）

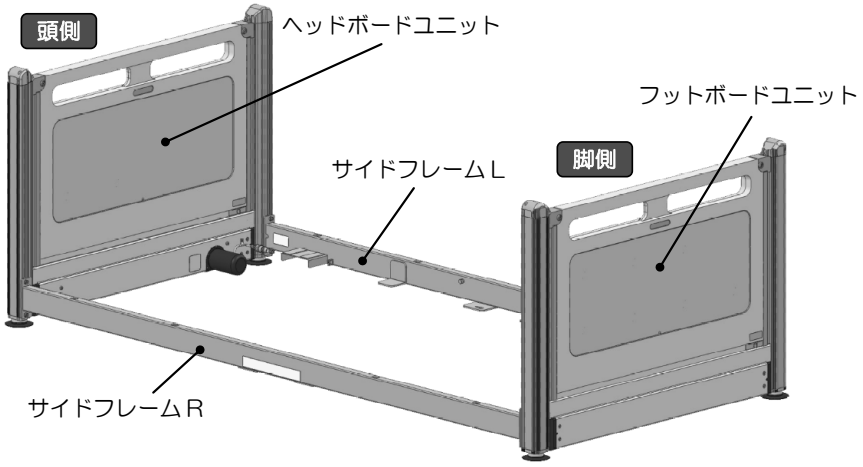
ヘッドボードユニットに仮止めされた固定ボルトの上に、サイドフレームＬのＵ溝を乗せます。頭側ラベルが貼付されている側がヘッドボードユニット側となります。その後、固定ボルトをヘッドボードユニットの上部のネジ穴に仮止めします。



同様の手順で、ヘッドボードユニットにサイドフレームＲを取り付け、フットボードユニットを組付けます。

（仮止めの確認とフレームのゆがみの修正）

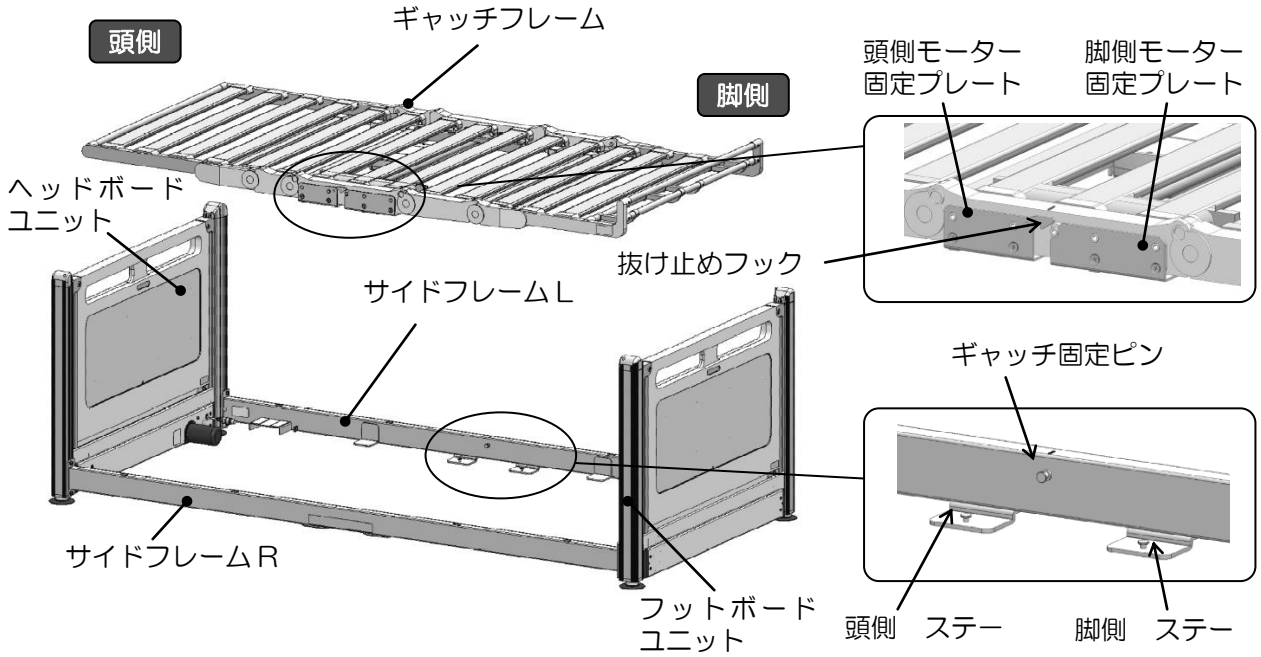
以上の手順で、ヘッドボードユニット、フットボードユニット、サイドフレームの仮止めが完了します。取り付け後は、下図のような形になります。このときフレーム全体にゆがみがないことを確認してください。ゆがみがある場合は、フレームのゆがみを直してください。



5-2. ギャッチフレームの取り付け

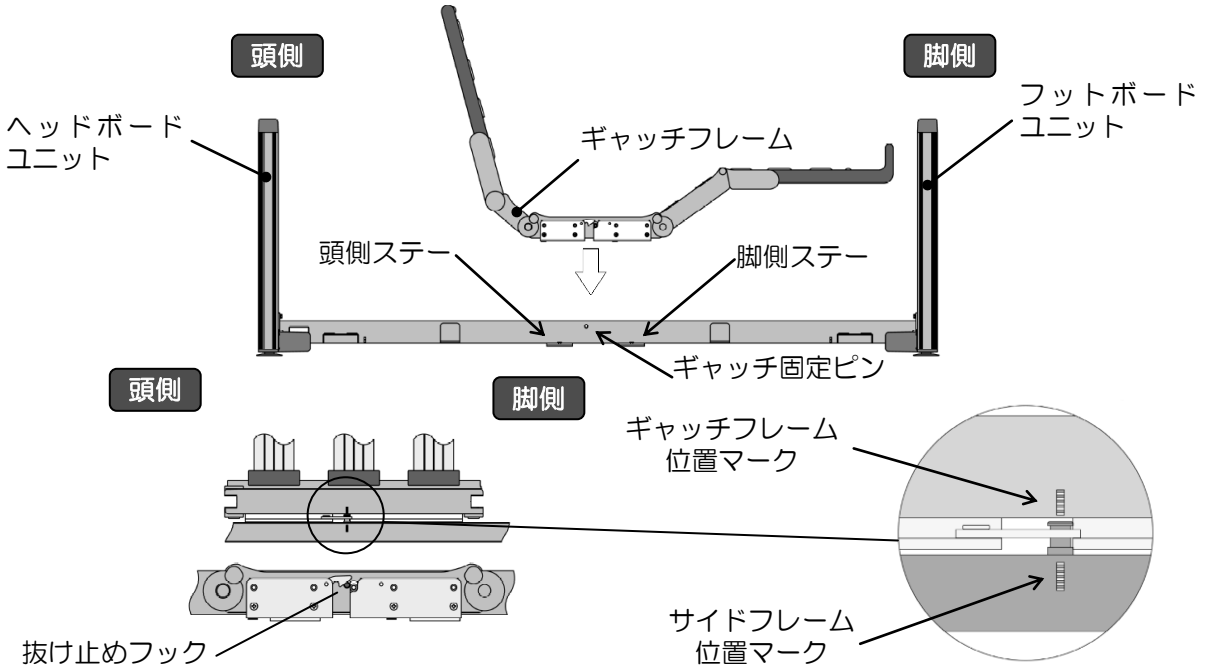
（ギャッチフレームをサイドフレームに取り付ける）

ギャッチフレームを頭側１名、脚側１名で持ち、ギャッチフレームの頭側をヘッドボードユニット側、ギャッチフレームの脚側をフットボードユニット側に向けて、サイドフレームＬとサイドフレームＲに取り付けます。



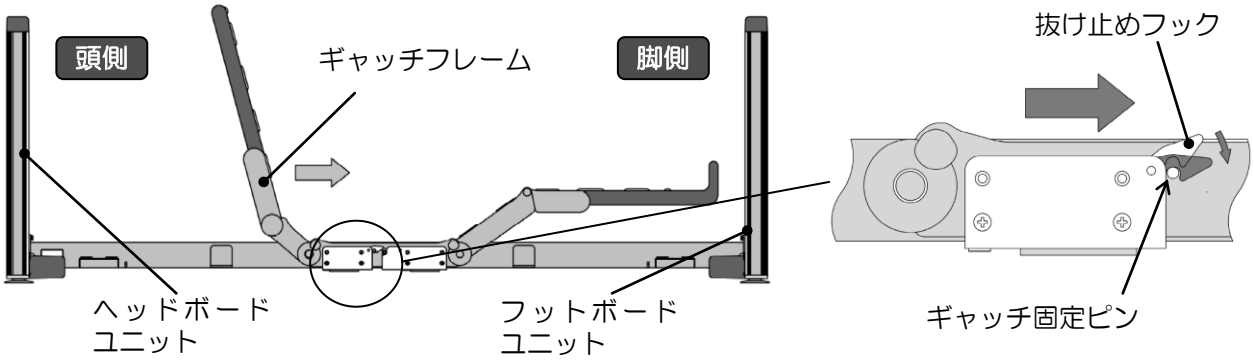
（ギャッチフレームをフレームに乗せるとき）

ギャッチフレームの左右に表示されている位置マークとサイドフレームに位置マークを合わせ乗せます。ギャッチフレームがサイドフレームと水平に乗せられていることを確認します。



（ギャッチユニットを固定する）

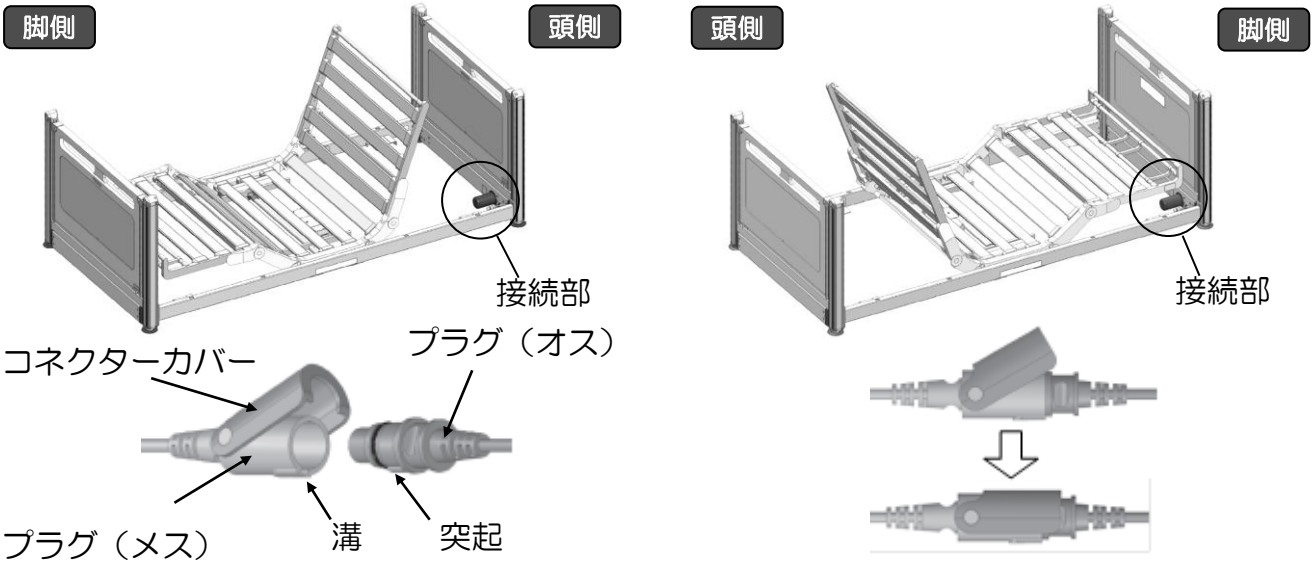
ギャッチフレームを脚側にスライドさせ、抜け止めフックをギャッチ固定ピンに掛けます。ギャッチフレームの中央部にガタつきがなく水平で、サイドフレームより極端に飛び出していないか、また左右の抜け止めフックがフレームより飛び出していないことを確認します。



5-3. 接続

ヘッド/フットボードユニットとギャッチフレームの接続

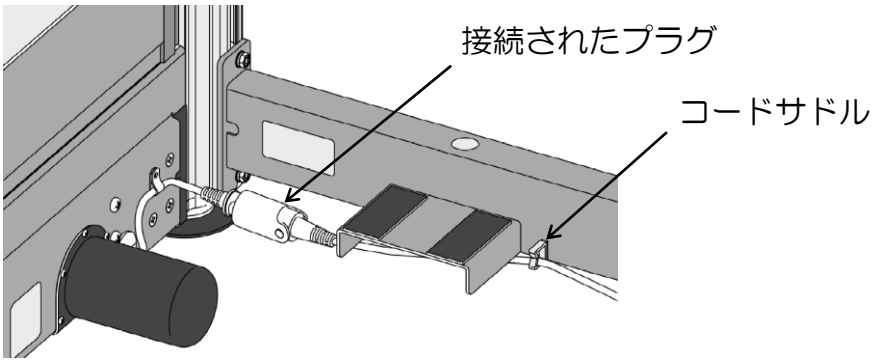
背ボトム及び、脚ボトムを持ちあげて、ギャッチフレームのケーブルとヘッドボード・フッドボードユニットのケーブルを接続します。



接続は、コネクターカバーを持ち上げ、プラグ（メス）の溝とプラグ（オス）の突起を合わせ接続します。接続後、コネクターカバーを戻します。

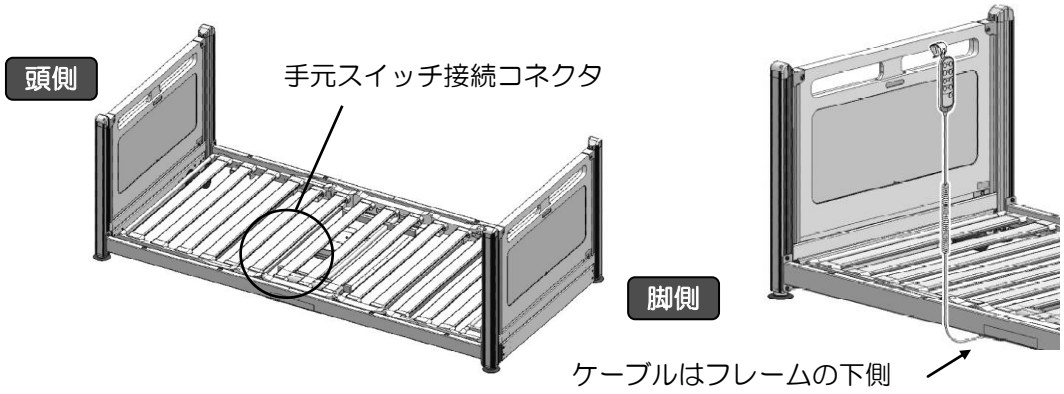
（コードの処理）

頭側、脚側プラグを接続後、サイドフレームのコードサドルにたるんだケーブルを掛けコードの処理をします。（下図参照）

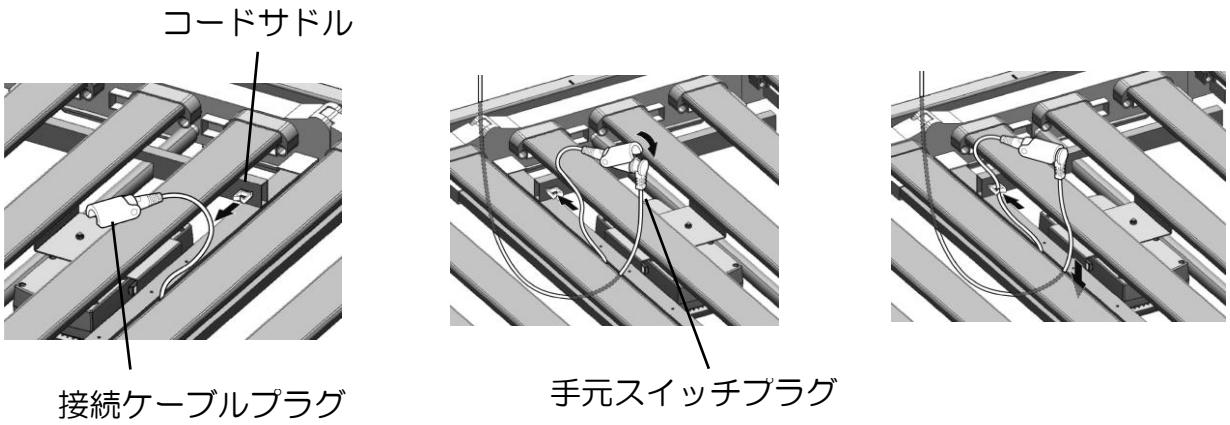


（手元スイッチを接続する。）

図に示す位置のコードサドルに取り付けてある手元スイッチ接続ケーブルのプラグを取り外し、手元スイッチのプラグを接続します。



① 接続ケーブルのプラグをコードサドルより取り外し手元スイッチのプラグと接続します。
② 手元スイッチを使用する方向が、右側又は左側かを決めコードサドルに引っかけます。
③ 手元スイッチのケーブルはサイドフレームの下側を通るように設置します。

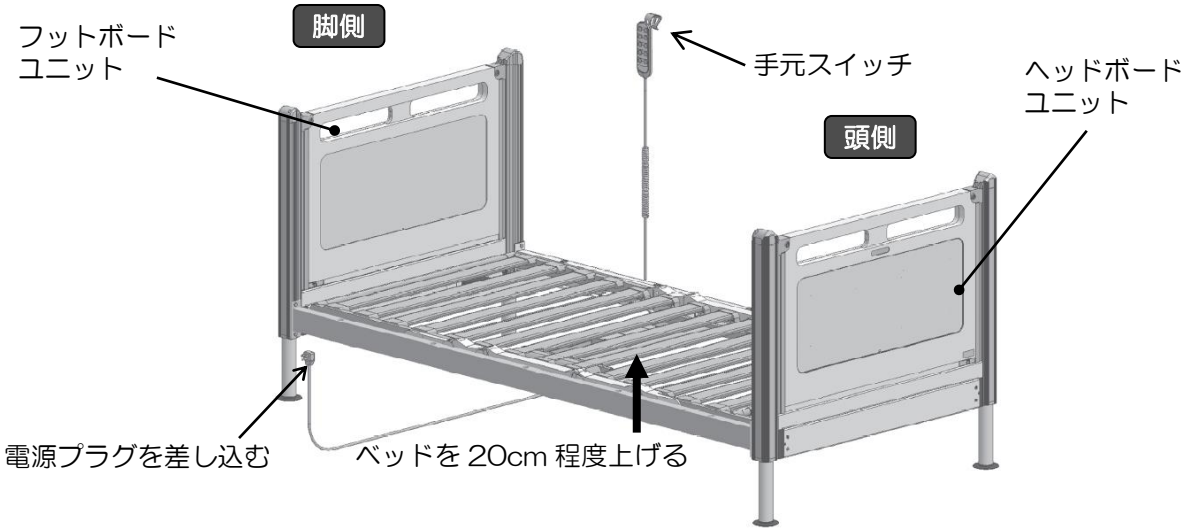


5-4. 各部のネジを増し締めする

（各部のネジを増し締めするためベッドの高さを上げる）

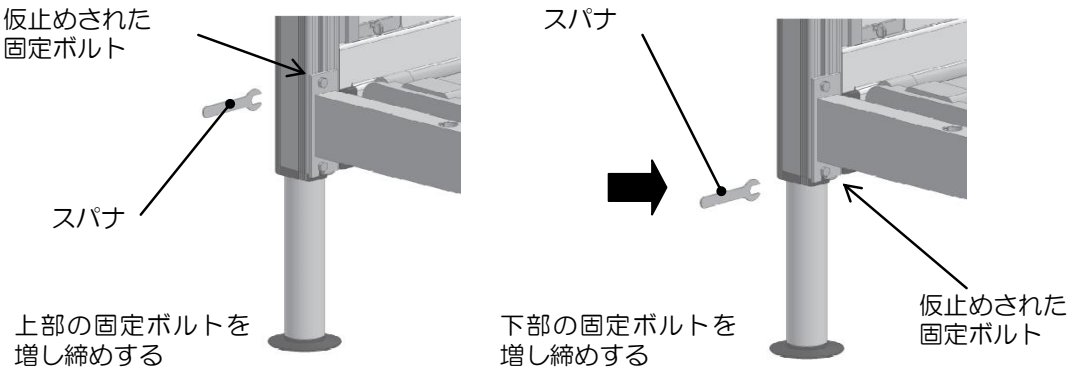
各部のネジを増し締めするために、ベッドの高さを上げます。まず、電源プラグをコンセントに差し込みます。約 10 秒後、昇降動作用ボタン（たかさ「上」「下」ボタン）をビープ音が鳴るまで同時に押し、ヘッドボード、フットボードユニットを最低の高さに揃えます。（初期リセット）次に、昇降動作用ボタン（たかさの「上」ボタン）を押してベッドを 20cm 程度上げます。なお、手元スイッチの操作方法については、後述する「7-2. 手元スイッチの操作方法」をご参照ください。

※ 動作中にエラーモードになった場合は再度、初期リセットを行ってください。リセットが上手く行えなかった可能性があります。



（固定ボルトを増し締めする：合計８ヶ所）

ヘッドボードユニット・フットボードユニットに仮止めされた固定ボルトをスパナで増し締めします。上部の固定ボルトを増し締めした後、下部の固定ボルトを増し締めします。

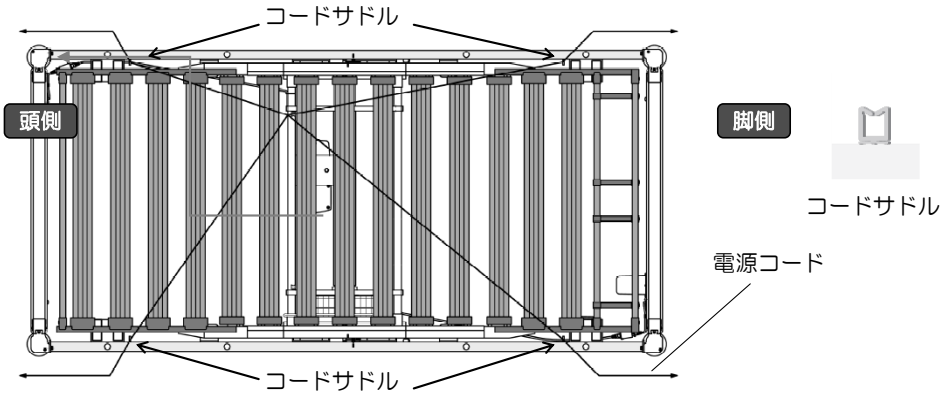


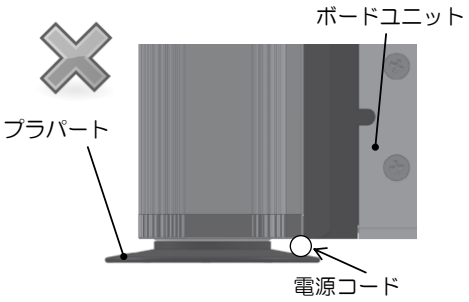
付属のスパナ（対辺 10）以外にプラスドライバーでも増し締め可能です。プラスドライバーで増し締めする場合は、増し締め後、付属のスパナで確実に締まっていることを確認してください。

⚠注意	
ヘッドボードユニットの固定ボルト（合計４ヶ所）、フットボードユニットの固定ボルト（合計４ヶ所）が確実に締まっていることを確認してください。 固定ボルトがゆるんでいると、サイドレームが外れるなどの思わぬ事故の原因となります。	

電源コードの配線方法

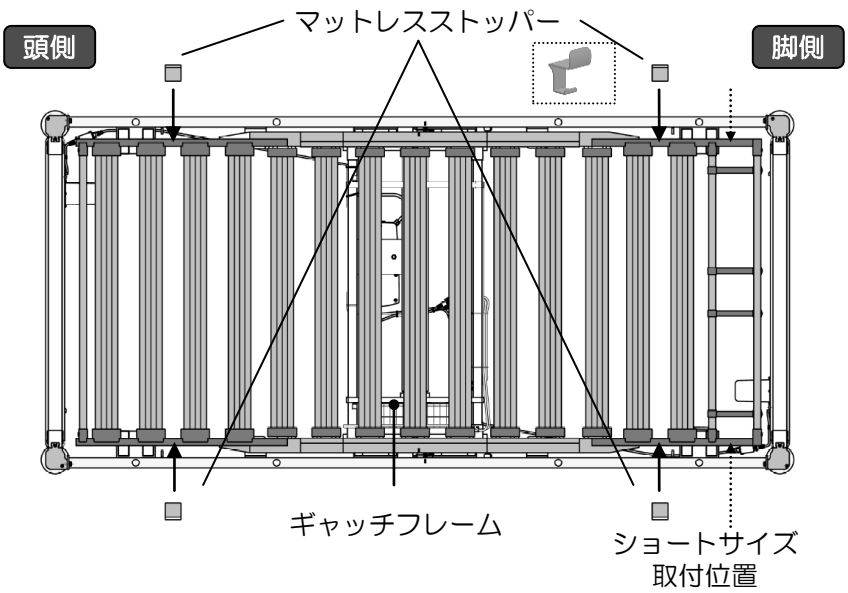
ベッドの中央部にある電源コードは、全方向から出すことが出来ます。コンセントプラグ、電源ケーブルが、ベッド昇降時に邪魔にならない箇所を選定し、コードサドルにコードを取り付け設置してください。

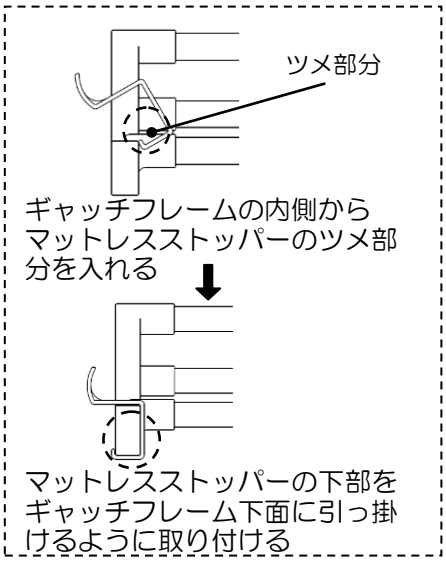


⚠注意	
ベッド四隅の脚部で、電源コードが頭側、脚側のボードユニットとプラパートで挟み込むことがないようにしてください。（他機器のケーブルも含む） コードの断線、製品の故障の恐れがあります。	

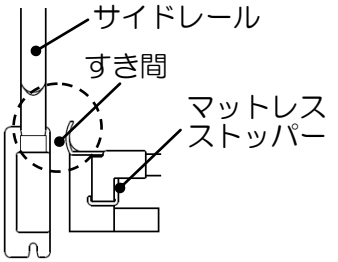
5-5. マットレスストッパーの取り付けについて

マットレスストッパーはマットレスのずれを防止する部品です。
ギャッチフレームの頭側と脚側それぞれの位置に取り付けます。（合計 4 箇所）





マットレスストッパーの
取り付け方

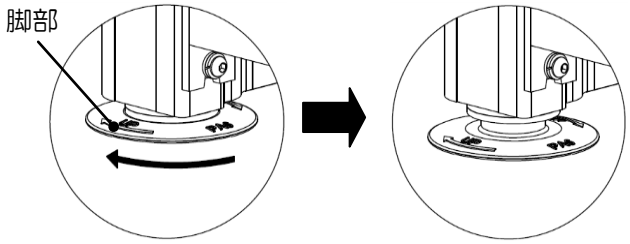
⚠注意	
マットレスストッパーとサイドレール、ベッド用グリップの間のすき間が狭くなるため、手や指の挟みこみに注意してください。 ケガや事故の原因となります。	

5-6. ベッド組み立て後の確認項目

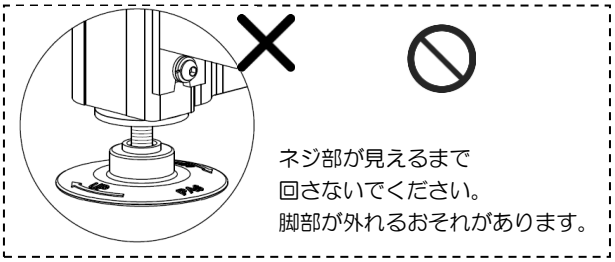
ベッド組み立て後は下記の項目の確認を行ってください。

- ヘッドボード、フットボードの高さが均等であることの確認。
- サイドフレームを固定している固定ボルト（頭側 4 ヶ所、脚側 4 ヶ所）が確実に固定されていることの確認。
- コントロールボックスに接続した端子にゆるみがないことの確認。
- ヘッド/フットボードユニットとギャッチフレームのケーブルを接続した端子が確実に接続されていることの確認。
- 手元スイッチによってベッドが正しく動作することの確認。
  （手元スイッチの操作方法については、7-2. 手元スイッチの操作方法　ご参照）
- ベッド動作時に異音の発生がないことの確認。
- コード類の挟み込みがないことの確認。
- ベッドが水平になっていることの確認。

水平でない場合は、下記の方法で脚部を調節することができます。



脚部を時計回りに 1 回転回すと、約 2mmほど伸ばすことができます。

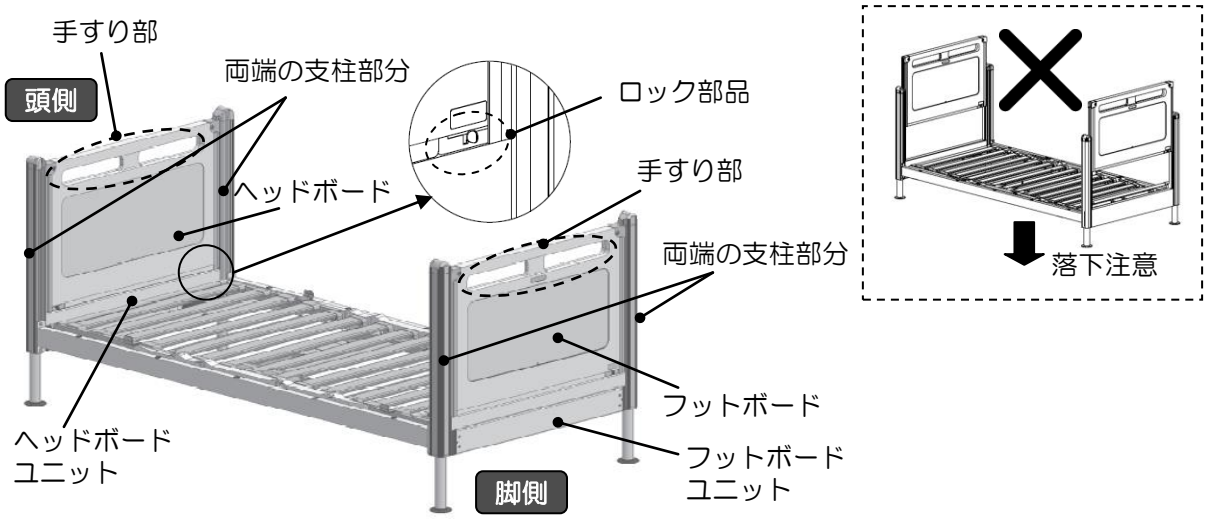


ネジ部が見えるまで
回さないでください。
脚部が外れるおそれがあります。

6.　設置後のベッドの移動方法

ベッドを設置した後に移動する際には、一度ベッドを分解し、再度組み立てを行ってください。若干の配置調整を行う場合には以下の点に注意してください。

ベッドの配置調整を行う場合

⚠注意	
作業は必ず２名以上で行ってください。 １名で作業を行うと、思わぬ事故になる可能性があります。	
ベッド移動時は、ヘッドボードユニットおよびフットボードユニットの両端の支柱部分を持つようにしてください。 ヘッドボード、フットボードの手すり部を持って運ぶと、「ロック部品」が破損し、ベッドフレーム自体が落下する恐れがあります。 	
ベッドをひきずらないでください。 床に傷が付くなどの事故の原因となります。	
ベッドを傾けたり、横に倒して移動しないでください。 ベッドフレームのゆがみの原因となります。	

7.　使用方法

7-1. ベッド使用前の準備

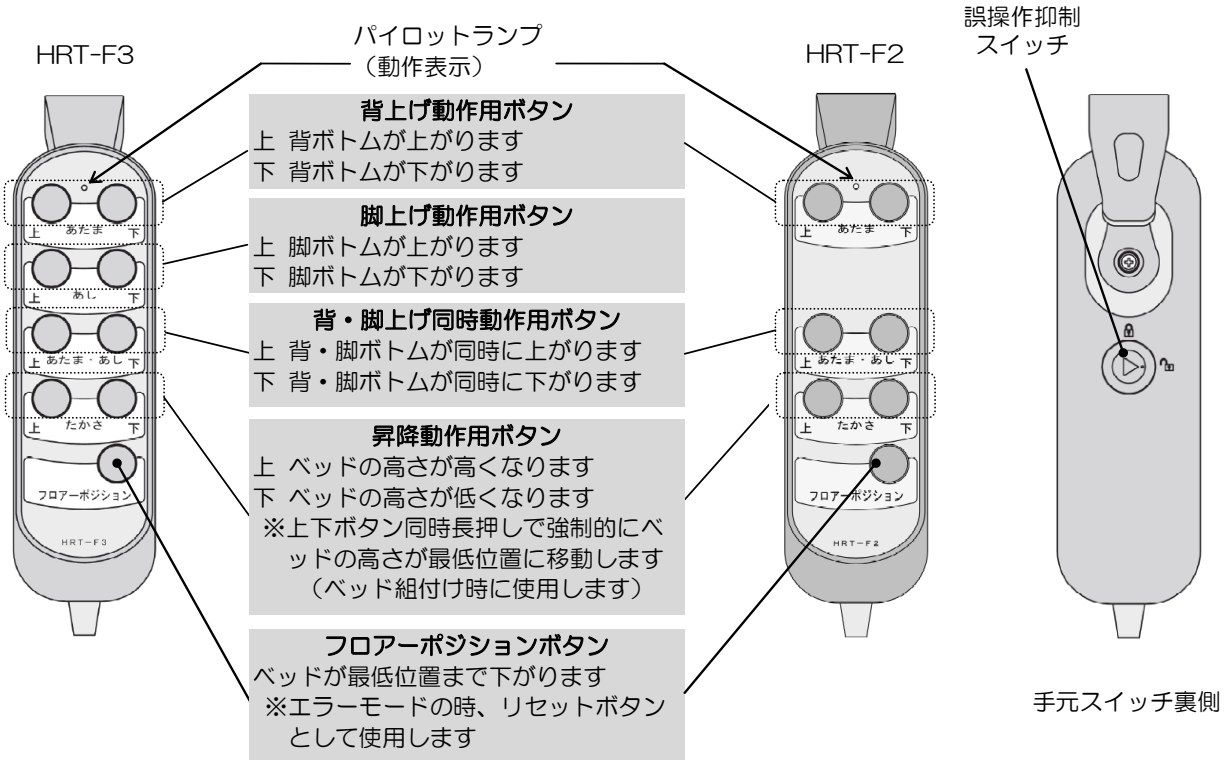
初めてベッドを使用する時は、以下の準備を行ってください。

- 周囲に障害物のない事を確認します。電源コードに十分余裕をもたせ、電源プラグをコンセントに確実に差し込みます。（ベッド操作は、電源を接続してから約 10 秒後に操作してください。**約１０秒間はベッド操作が出来ません。**）
- ベッドを一番高くしたときに、コード類がひっかかっていないか、十分な余裕があることを確認してください。
- ベッドを低くしたときに、コンセントに差した電源プラグが干渉しないか、電源コードがプラパートに挟まっていないか確認してください。

⚠注意	
操作をする前にベッドの下や周囲にぶつかったり、挟まったりしそうな人やモノがないことを確認してください。	
手元スイッチのボタンは、必要な動きに合わせて１つずつ押してください。	
モーターの定格時間は 2 分です。それ以上は連続して使用しないでください。保護装置が働き動作しなくなります。動作しない場合は、十分な時間をおき、モーターが冷えてから使用してください。	

7-2. 手元スイッチの操作方法

- ベッドを操作するときは、手元スイッチの動作用ボタンを１つ押してください。動作用ボタンを押している間、パイロットランプが点灯し、ベッドが動きます。
- ベッドを保護するため、操作ボタンは連打できないようになっています。操作ボタンはゆっくりと確実に押してください。もし、指が離れた場合は 0.5 秒以上あけてから押し直してください。**0.5 秒以内に押すとベッドは動きません。**
- フロアーポジションボタンを押すと一番低い位置（ボトム高さ 11cm）まで下がります。フロアーポジションボタンは、ボトム高さ 24cm 以下で使用ができます。

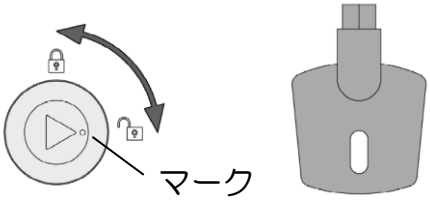


※昇降動作用ボタンで下げられるベッドの高さは 24ｃｍまでです。それより低くベッドを下げる場合は、ベッドの下や周囲の安全を確認した上で、フロアーポジションボタンを押して下げてください。

⚠注意	
フロアーポジションボタンを押すと、ベッドが最低位置まで降下するため、ベッドの下や周囲の安全を確認した上で、フロアーポジションボタンを押してください。 挟み込みによりケガや故障の原因となります。	❗

● 誤操作抑制スイッチについて

手元スイッチの裏側にある、誤操作抑制スイッチの三角穴に付属の切替レンチを差し込み、に 🔒 マークを合わせると手元スイッチによる操作を禁止することができます。🔓 にマークを合わせると手元スイッチによる操作が可能になります。



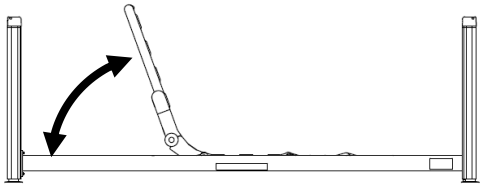
誤操作抑制スイッチ　　切替レンチ

⚠注意	
🔒 の位置にマークがある場合は、手元スイッチでの操作はできません。	❗

7-3. 背上げ動作と脚上げ動作の使用方法

● 手元スイッチのボタンを押すことで、背上げ動作や脚上げ動作を行うことができます。

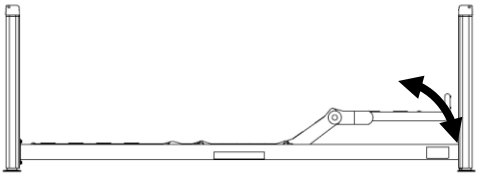
背上げ動作



● ベッドから起き上がりのときに便利です。
● ベッドでの食事、読書などで背もたれとして使用できます。
● 介護する方の負担を軽減します。

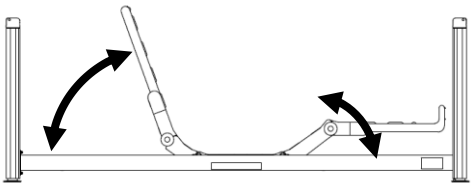
脚上げ動作

※ ３ファンクションタイプのみの機構となります。

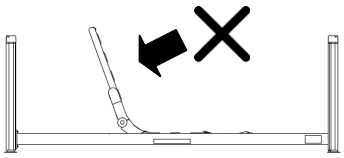
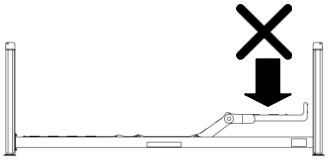


● 脚がむくんだときや、少し脚を上げたいときに使用します。
● 背上げをする時に先に上げておくと、体のずれを少なくできます。

背上げ ＋ 脚上げ同時動作



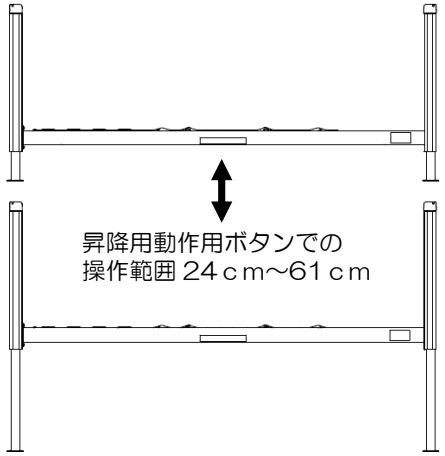
● 背と脚が同時に動きます。
● 背上げ動作による体のずれを防ぎます。

⚠注意		
背上げしたまま背ボトムに対して強い衝撃を与えないでください。 ベッドの破損、ケガの原因となります。		
ベッドへ移乗させる場合、脚上げしたまま移乗させないでください。 誤って脚上げした状態のところに移乗させてしまうとベッドの破損、ケガの原因となります。		

7-4. 上下昇降動作（ハイロー機能）の使用方法

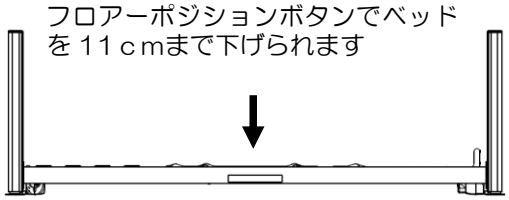
- 手元スイッチのボタンを押すことで、上下昇降動作を行うことができます。
- ベッド本体は 11cm まで下げられるようになっていますが、挟み込みによる事故を防ぐために、昇降用動作用ボタンでは、24cm までしか下げられないようになっています。
- 11cm まで下げる場合、ベッドの下や周囲の安全を確認し、挟み込んでしまうモノや、体の一部がないことを目視による確認を行ってから、フロアーポジションボタンを使用してベッドの高さを下げてください。

昇降用動作用ボタンでの上下昇降動作



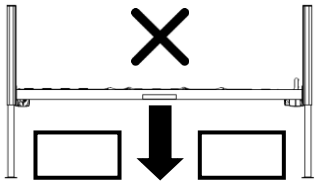
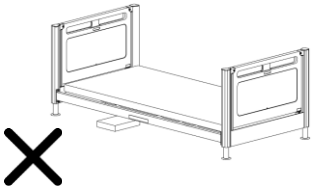
- ベッドから立ち上がる高さを調整することが出来ます。
- ポータブルトイレや車いすなどに移乗するときに高さを合わせられます。
- ベッドの高さを調節することによって楽な姿勢で介護が出来ます。
- ベッドが垂直に上下し、昇降時に前後に移動しません。
- 足などを挟まないよう、安全のため昇降用動作用ボタンでは 24ｃmまでしか下げられません。

フロアーポジションボタンでの下降動作

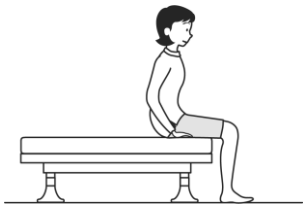


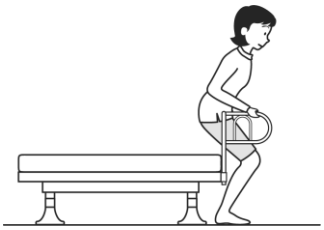
- フロアーポジションボタンでベッドを11ｃm まで下げることができます。

※フロアーポジションボタンは 24cm 以上では操作できません。

⚠注意	
手元スイッチによりベッドの高さを下げるときは、ベッドの下にモノや体の一部がないことを確認してから操作してください。 挟み込みによりケガや故障の原因となります。 	
ベッドの高さを床まで下げるときは、ベッドの下にモノや体の一部が挟まっていないことを確認してから操作してください。 挟み込みによりケガや故障の原因となります。 	
ベッドからの転落の恐れのある方が横になる場合はベッド高さをフロアーポジションにしてご使用ください。 転落によるケガの原因となります。	

上下昇降動作の活用方法



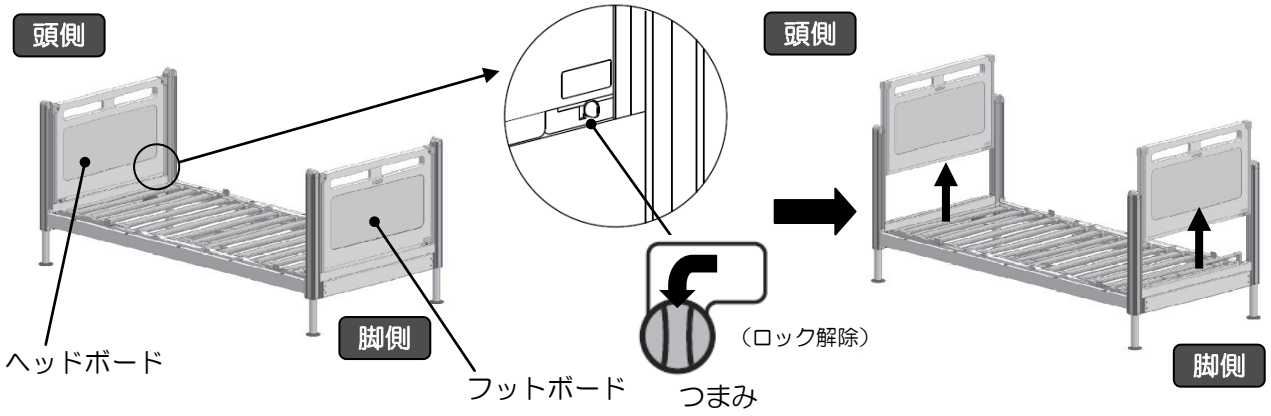


- 本製品は、高さを変えることで、立ち上がりや車いす、ポータブルトイレへの移乗が楽に行えます。
- マットレスの上に座り、かかとを床に着け、ひざが直角に曲がるくらいにすると座位が安定し、立ち上がりやすくなります。ベッド用グリップをご使用になりますと、「立つ」、「座る」の動作負担を軽くすることができます。
- ベッドからの移乗は、マットレスの上面が車いすやポータブルトイレなどの座面よりも少し高めの方が移乗しやすくなります。
- ベッドへ戻る場合は、マットレスの上面が少し低めの方が移乗しやすくなります。いずれも個人差があります。使う方に合った高さに調整してください。
- 低床位置で使用することで、転落時の衝撃を緩和することができます。
- 低床位置で使用することで、介護者の方が隣に寝た位置からでも様子をうかがうことができます。

- 動作説明の内容を十分理解し、動作確認できましたら、マットレスをギャッチフレームの上にのせて使用してください。

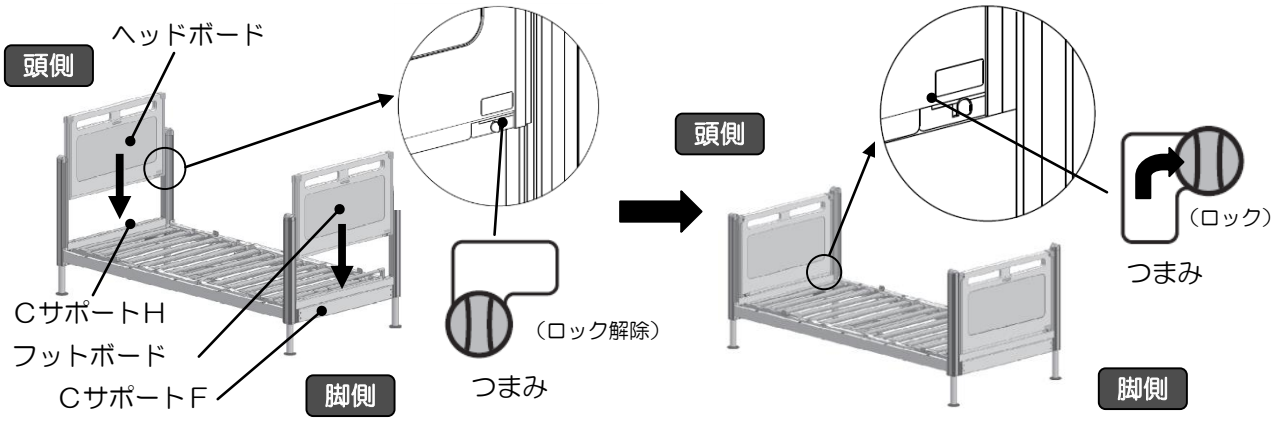
7-5. ヘッドボード、フットボードの脱着

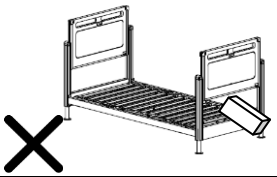
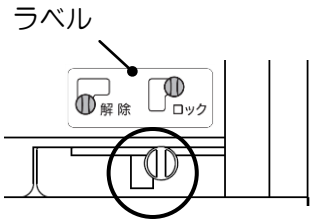
- ヘッドボード、フットボードの取り外し方
  ヘッドボード、フットボードの右下部にあるつまみの位置を、左下方向（ロック解除方向）に動かすとヘッドボード、フットボードのロックが解除され、ヘッドボード、フットボードを上へ引き上げて、取り外すことができます。



● ヘッドボード、フットボードの取り付け方

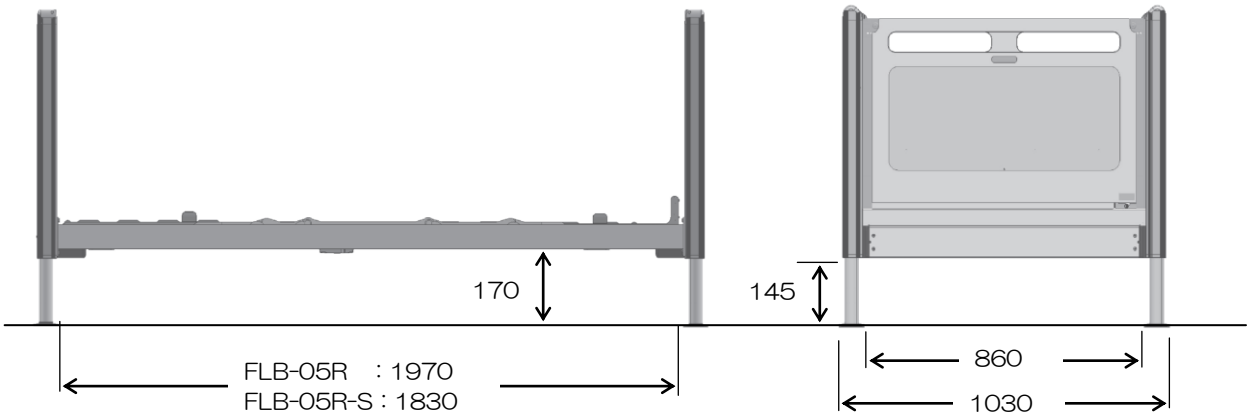
ヘッドボード、フットボードの右下部のつまみの位置が左下方向（ロック解除方向）にある状態で、ヘッドボード、フットボードをCサポートH、CサポートFの内側に確実に差し込みます。その後、つまみを右上方向（ロック方向）へ移動させてヘッドボード、フットボードをロックします。



⚠注意	
ヘッドボード、フットボードを取り付け、取り外しを行う際は、Cサポートとヘッドボード、フットボードの間にモノや体の一部がないことを確認してから取り付けてください。 ケガの原因となります。	
ヘッドボード、フットボードを取り付けた際、つまみの位置が必ずラベルのロック方向になっていることを確認し、ヘッドボード、フットボードが外れないことを確認してください。 つまみがラベルの解除方向にあると、ヘッドボード、フットボードを意図せず持ち上げた時に意図せず外れてしまい、思わぬケガをする恐れがあります。	

8.　リフトの利用について

- リフトを使用する際は、昇降用動作用下降ボタンで下がる高さの範囲で使用してください。それより低い位置（24cm～11cm）にはしないでください。
- ベッド頭側からリフトをご利用になる場合は、ベッド脚部を逃げる外側幅寸法は約1030mm、内側幅寸法は 860mmです。
- ベッド側面からご利用になる場合は、脚部の内側 1970ｍｍ（FLB-05R）、1830（FLB-05RS）の範囲で床面から 170mmとなります。
- ご利用できないリフトもありますので、販売店に相談してください。
- ご利用の際は、リフトに添付されております、リフトの取扱説明書に従ってください。



図は手元スイッチで操作した場合のすき間寸法です

⚠注意	
リフトは手元スイッチの昇降動作用下降ボタンで下がる 24ｃｍ以上で使用してください。 フロアーポジションボタンを操作してベッドを 24ｃｍ以下に下げると床面とベッドのすき間がほとんどなくなります。リフトを挟んでケガやベッドの故障の原因となります。	

9.　サイドレールとベッド用グリップについて

9-1. サイドレールの使用目的

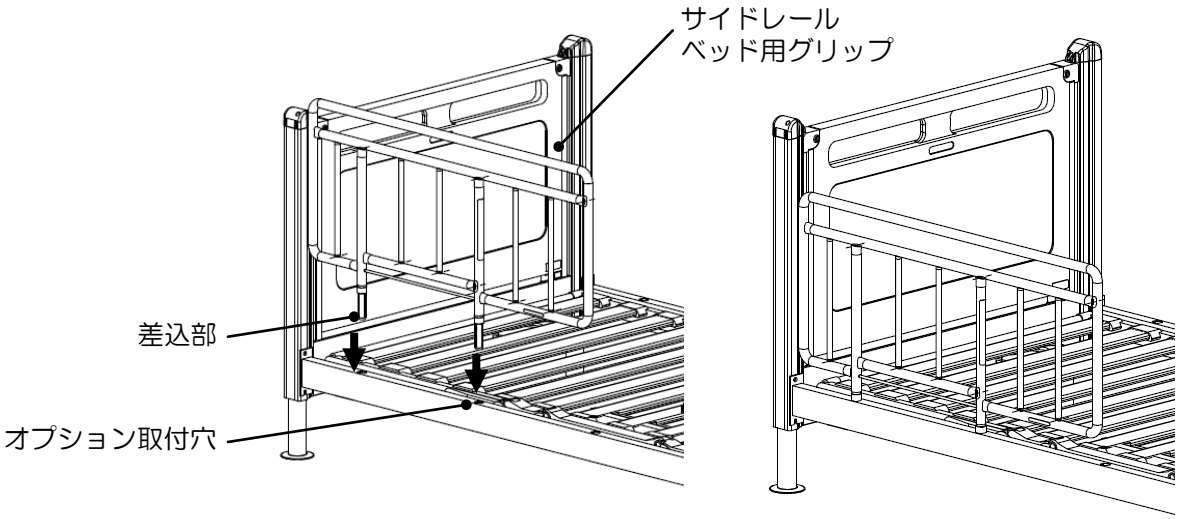
● サイドレールは、ベッドからの転落や寝具の落ち止めとして使用します。

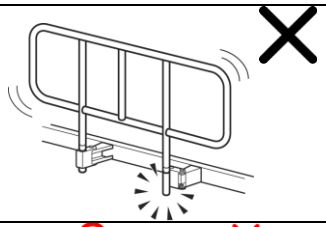
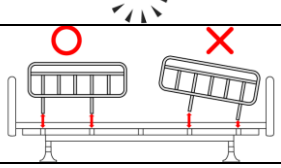
9-2. ベッド用グリップの使用目的

● ベッド用グリップは、転落や寝具の落ち止めに加えて、起き上がり、立ち上がり、移乗などの動作を補助するものです。ベッドから乗り降りする方向の頭側に取り付けます。

9-3. サイドレールとベッド用グリップの取り付け方法

● サイドレール、ベッド用グリップはベッド左右にあるオプション取付穴に差し込みます。
● ベッド用グリップの取り付けは、各ベッド用グリップの使用方法を確認してください。

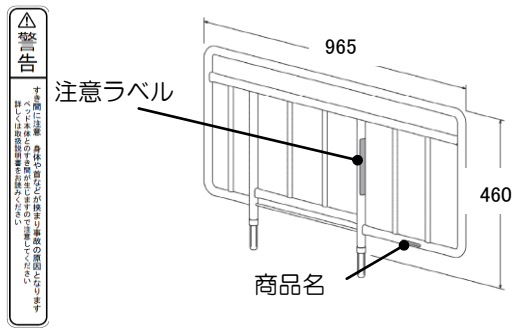
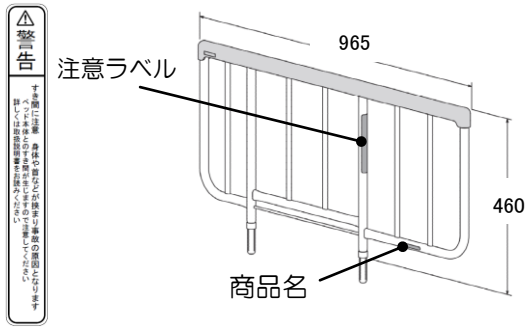
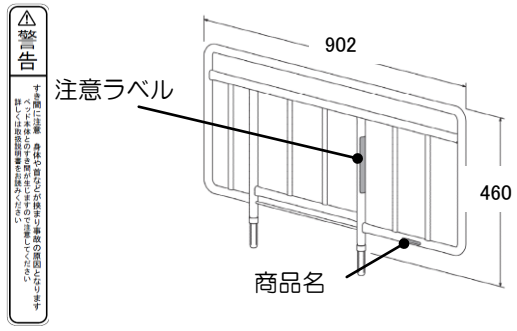
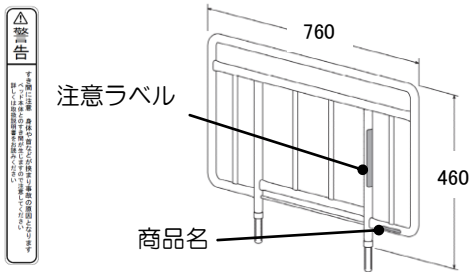
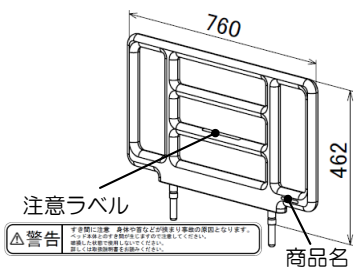


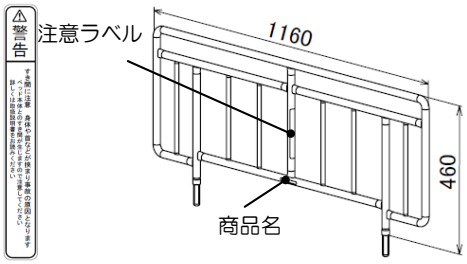
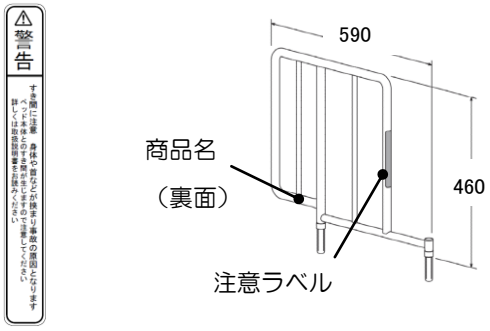
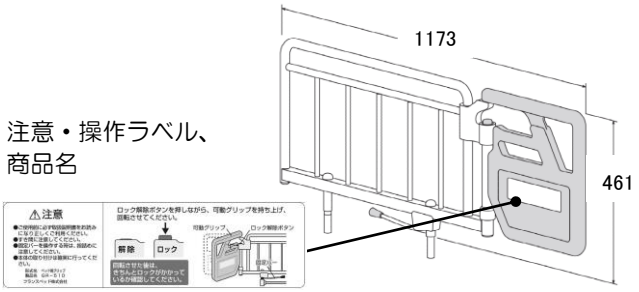
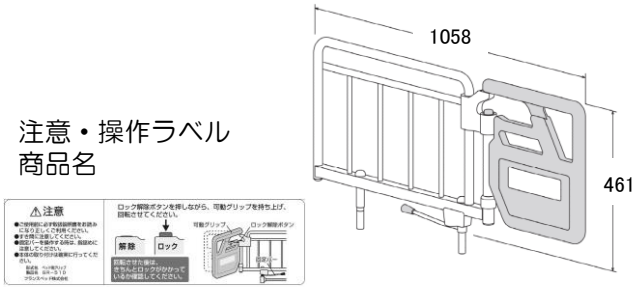
⚠注意	
サイドレール、ベッド用グリップをベッドに取り付けるときは、必ず２ヶ所に差し込んでください。 固定が不十分だと、グラツキが発生し事故の原因となります。	
サイドレールの抜き差しは無理せず平行に行ってください。 無理に抜き差しを行うと、破損の原因となります。	

9-4. 適合するサイドレールとベッド用グリップ

- 本製品に適合するサイドレールとベッド用グリップを以下に示します。
- 商品名をご確認ください。
- 注意ラベルは、注意事項の中で特に注意して頂きたい項目を表示してあります。はがしたり、傷つけたり（汚したり）しないでください。

適合するサイドレール及びグリップ

商品名	形状、寸法（mm）	材質、塗装、重量
サイドレール SR-100JJ		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 3.5（kg）
サイドレール SR-106JJ		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 PP 3.5（kg）
サイドレール SR-100JJS		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 3.5（kg）
サイドレール SR-300JJ		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 3.0（kg）
サイドレール SR-300 ウッド JJ		天然木 スチールパイプ ウレタン塗装 エポキシ樹脂粉体塗装 4.0（kg）

サイドレール SR-800JJ		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 4.5（kg）
サイドレール SR-351JJ		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 2.5（kg）
ベッド用 グリップ GR-510		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 7.0（kg）
ベッド用 グリップ GR-510S		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 6.0（kg）

サイドレール/ベッド用グリップの組み合わせ

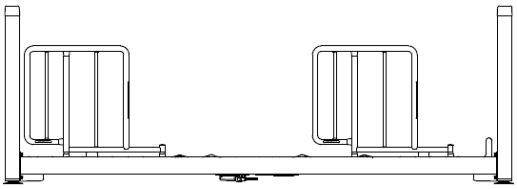
● サイドレールとベッド用のグリップの組み合わせは以下の通りです。

⚠警告

以下の組み合わせ表の「×」は、使用した時に身体（頭や首など）を挟み込む危険性があるすき間が発生します。指定以外のサイドレール・グリップの使用ならびに指定以外の組み合わせの使用はしないでください。

身体（頭や首など）を挟み込み、重大な事故の原因となります。

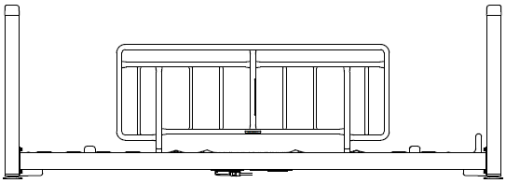
SR-351JJ の取付方法



※柵部の向きで外・内向きを確認してください

SR-351JJ（外向き）　SR-351JJ（内向き）

SR-800JJ の取付方法



※中央２つのオプション取付穴を使用してください

中央：SR-800JJ

FLB-05R/FLB-05R2（標準サイズ）の組み合わせ

脚側 ＼ 頭側		なし	サイドレール					グリップ	
			SR-100JJ SR-106JJ	SR-100JJS	SR-300JJ SR-300 ウッドJJ	SR-351JJ （外向き）	SR-351JJ （内向き）	GR-510	GR-510S
なし		○	○	×	○	○	○	○	○
サイドレール	SR-100JJ SR-106JJ	○	○	×	×	○	×	×	×
	SR-100JJS	×	×	×	×	×	×	×	×
	SR-300JJ SR-300 ウッドJJ	○	×	×	○	○	○	○	×
	SR-351JJ （外向き）	○	○	×	○	○	○	○	○
	SR-351JJ （内向き）	○	×	×	○	○	○	○	×
グリップ	GR-510	○	×	×	○	○	○	×	×
	GR-510S	○	×	×	×	○	×	×	×

※中央に SR-800JJ の取り付け可能（組み合わせなし）

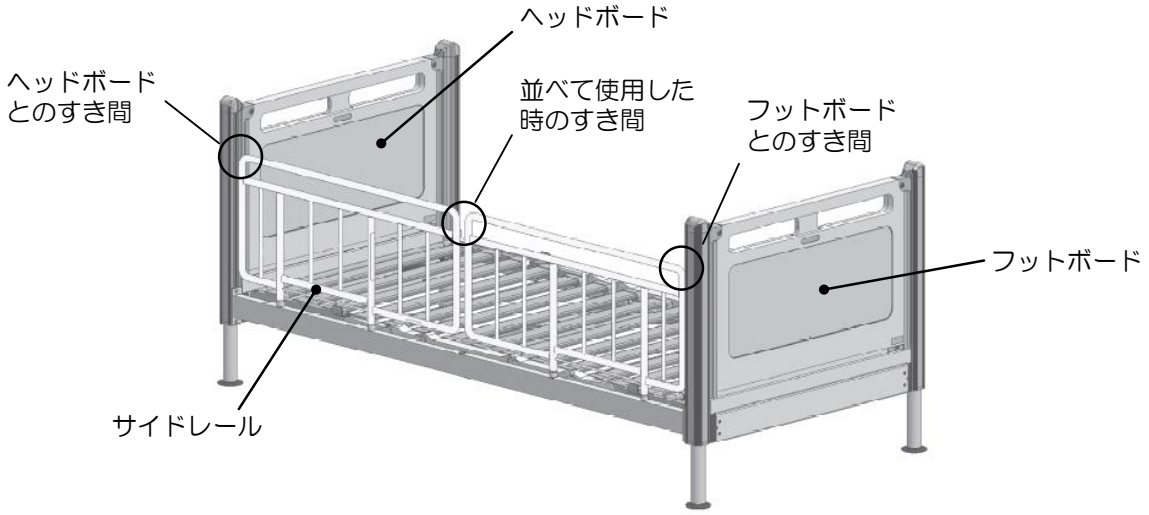
FLB-05RS/FLB-05R2S（ショートサイズ）の組み合わせ

脚側 ＼ 頭側		なし	サイドレール					グリップ	
			SR-100JJ SR-106JJ	SR-100JJS	SR-300JJ SR-300ウッドJJ	SR-351JJ （外向き）	SR-351JJ （内向き）	GR-510	GR-510S
なし		○	×	○	○	○	○	○	○
サイドレール	SR-100JJ SR-106JJ	×	×	×	×	×	×	×	×
	SR-100JJS	○	×	○	×	○	×	×	×
	SR-300JJ SR-300ウッドJJ	○	×	×	×	○	×	×	○
	SR-351JJ （外向き）	○	×	○	○	○	○	×	○
	SR-351JJ （内向き）	○	×	×	×	○	×	×	○
グリップ	GR-510	○	×	×	×	×	×	×	×
	GR-510S	○	×	×	○	○	○	×	×

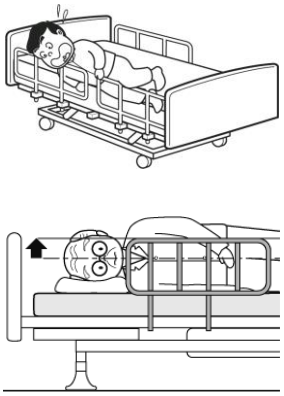
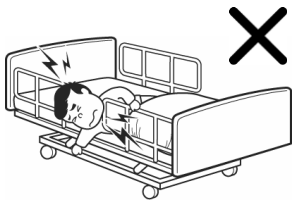
※SR-800JJ の取り付けはできません

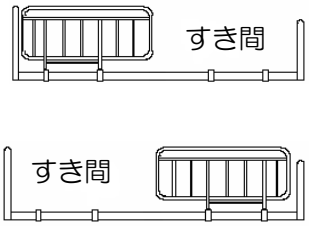
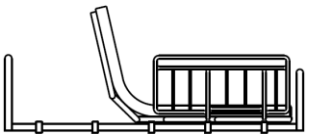
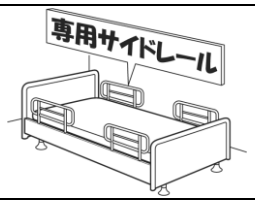
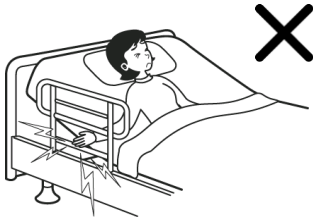
9-5 サイドレールとベッド用グリップの注意事項

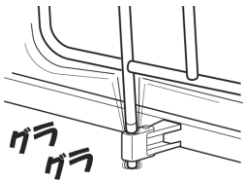
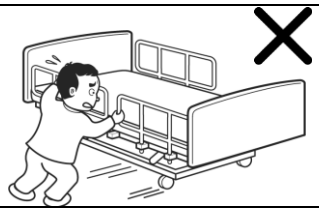
● サイドレールとベッド用グリップの共通の注意事項を以下に示します。



ベッドに設置した場合のすき間に関する注意

⚠警告	
使用者によってはサイドレール、ベッド用グリップを乗り越え、ベッドから転落してケガをする可能性があります。 特に厚いマットレス（エアマットレスなど）との組み合わせによっては相対的にサイドレール、ベッド用グリップ高さが低くなります。乗り越えないよう注意してください。マットレスは指定の厚さのものをご使用ください。使用者が側臥位（そくがい）の寝姿勢をとったとき、身体の中心線（鼻とへそを結ぶ線）より高くなることを確認してください。 ベッドから転落してケガをする恐れがあります。 	❗
ベッドとの組み合わせによってはすき間ができます。すき間に身体（手足、首など）を挟まないように注意してください。 身体や首などが挟まり抜け出せなくなり、身体の障害や生命にかかわるケガをする恐れがあります。 また、使用者の病状や症状に応じてサイドレール、ベッド用グリップには安全グッズや毛布、クッションなどを合わせて使用することをおすすめします。特にご自身で体位を保持できない使用者には十分注意してください。 	❗
サイドレールやベッド用グリップへの寄りかかりや、身体の圧迫には注意してください。 サイドレールやベッド用グリップへ寄りかかったりすると身体が圧迫されて、傷害や生命の危機にかかわるケガをする恐れがあります。	❗

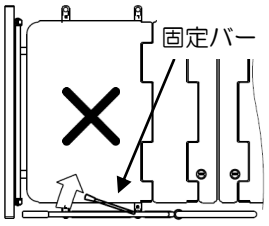
サイドレールやベッド用グリップを１本で使用（ベッドの片側での使用）する際はベッドとのすき間が大きくなることがありますので注意してください。特に身体を保持できない使用者には注意してください。サイドレール、ベッド用グリップをベッドの片側にのみ差した場合、背上げをしたマットレスとサイドレール、ベッド用グリップのすき間に身体がはさまれる可能性がありますので注意してください。		
サイドレールやベッド用グリップを差し込む位置によっては、背上げをしたマットレスとV字形のすき間になる場合がありますので注意してください。 身体や首などが挟まり抜け出せなくなり、身体の障害や生命にかかわるケガをする恐れがあります。		
サイドレールをお使いになる場合は、弊社製のサイドレールを使用してください。また、落下する可能性の大きい使用者に対しては、側面全体をサイドレールで覆うなどの方法が有効です。		
使用者の就寝時にサイドレール、ベッド用グリップを使用する場合、「サイドレール、ベッド用グリップが立っています。」と声を掛けてください。 使用者によってはサイドレール、ベッド用グリップの存在を忘れる方がいます。就寝前にサイドレール、ベッド用グリップがある事を認識させてください。		
ベッドからの乗り降り時にはサイドレール、ベッド用グリップに注意してください。 ベッドからの乗り降り時には足場を確保し、ゆっくりと確実に行動してください。 衣服によっては、転倒、転落した際にサイドレールやベッド用グリップに引っかかったり重大事故となる恐れがあります。		
サイドレールやベッド用グリップの上に立ったり、腰掛けたりして無理な力を加えるような異常な使い方はしないでください。また、サイドレールやベッド用グリップをまたいでベッドの乗り降りをしないでください。 破損や転倒、転落をして事故の原因となります。		
サイドレールやベッド用グリップのすき間に身体（手足、首など）を入れないでください。背上げなどベッドの操作をするときに、挟まれる可能性があります。 特にベッド上で予測できない行動をとる可能性がある方や、自力で危険な状態から回避することができない方などには注意してください。また、こういった方に使用する際は、事故を防止するために、すき間をクッション材や毛布などで埋めてください。清拭やシーツ交換の際も、使用者の手、指の挟み込みに注意してください。 挟まれてケガをする恐れがあります。		

⚠注意	
長期間の使用などにより差し込み部分がゆるくなり不安定になった場合は販売店または弊社お客様相談室に連絡してください。 ぐらついたまま使用していると思わぬ事故の原因となります。 	
座位が保てない方の使用は注意してください。 背上げをした状態で座位を保持することが困難な方がサイドレール、ベッド用グリップに倒れ込むことにより頸部（けいぶ）圧迫による重大事故の原因となる場合があります。	
思わぬケガをしないように、製品に異常がないか定期的に点検してください	
サイドレールやベッド用グリップを持って、ベッドを移動するなど無理な力をかけないでください。 過大な力が掛かり変形、破損の原因となります。 	
本取扱説明書で指定された以外の組み合わせで使用しないでください。	
お客様による修理、改造は絶対にしないでください。修理は販売店または弊社お客様相談室にご依頼ください。思わぬ事故の原因となります。	

● ベッド用グリップ　GR-510/510S の注意事項

ベッド用グリップ GR-510/510S の注意事項を以下に示します。

⚠警告	
ベッドの上から操作する際は転倒に注意してください。操作がうまくできない方、足腰が不安定な方の使用の際には、転落、転倒などの事故を防止するためにも、介助者が付き添った上でご使用ください。 操作時に誤って転落し、ケガをする恐れがあります。	❗
固定バーは確実に固定バーロックの溝にはまっていることを確認してから使用してください。 固定が不十分だと、本体がベッドフレームから外れる可能性があり事故の原因となります。	❗
可動グリップが確実に固定されていることを確認してから使用してください。 固定が不十分だと、可動グリップが不意に回転し、転倒、ケガをする恐れがあります。	❗
45°で固定したとき、マットレスと可動グリップにV字形のすき間ができますので注意してください。 身体や首などが挟まり抜け出せなくなり、身体の障害や生命にかかわるケガをする恐れがあります。	❗

⚠注意	
操作のときに、手指を挟まないように注意してください。 ケガや事故の原因となります。	❗
可動グリップを回転させるときは、手指を挟まないように注意してください。 すき間により、手指が挟まれる恐れがあります。	❗
可動グリップを固定する角度（0°、90°以外の場合）によっては、ベッドとのすき間が大きくなる場合があります。十分注意して、使用してください。 事故やケガの原因となります。	❗
固定バーを回して固定する際は、サイドレールの位置よりも、マットレス側に回さないでください。 固定バーを回しすぎると背上げ動作時に、背ボトムと干渉して事故や破損の原因となります。 	⃠
可動グリップは、マットレス側には回転させないでください。 事故や破損の原因となります。	⃠

10.　ベッドフレームの分解方法

⚠注意	
床の材質によっては、分解時に床面が傷つくことがありますので、ダンボール材や敷物などを敷いて床面の保護を行ってください。	
分解の際には、ケガなどに十分注意して作業を行ってください。	
分解を行う前に、「1．安全のために必ずお守りください」、「2．各部の名称」、「3．部品の確認」、「5．ベッドの組立手順」をよく読んでおいてください。	
分解の際には、部品の上に乗らないでください。 部品の変形や破損の原因となります。	

ベッドフレームを分解するときは、以下の手順で行います。

10-1．分解前の準備
手元スイッチを操作して、背ボトムと脚ボトムを平らにし、高さを 20cm 程度にします。

10-2．サイドフレームの固定ボルトをゆるめる
ヘッド/フットボードユニットとサイドフレームを固定している固定ボルト（8 ヶ所）をゆるめます。

10-3．ギャッチフレームのケーブルを取り外す
フロアーポジションボタンで、高さを最低位にし、電源プラグをコンセントから外します。
ヘッド/フットボードユニットとギャッチフレームのケーブル端子を外し、コードサドルからギャッチフレームのケーブル、電源ケーブルを外します。

10-4．ギャッチフレームを取り外す
左右の抜け止めフックを持ち上げ、ギャッチフレームをヘッドボードユニット方向にスライドさせ、ギャッチフレームを頭側 1 名、脚側 1 名で持ちあげ、サイドフレームから外します。

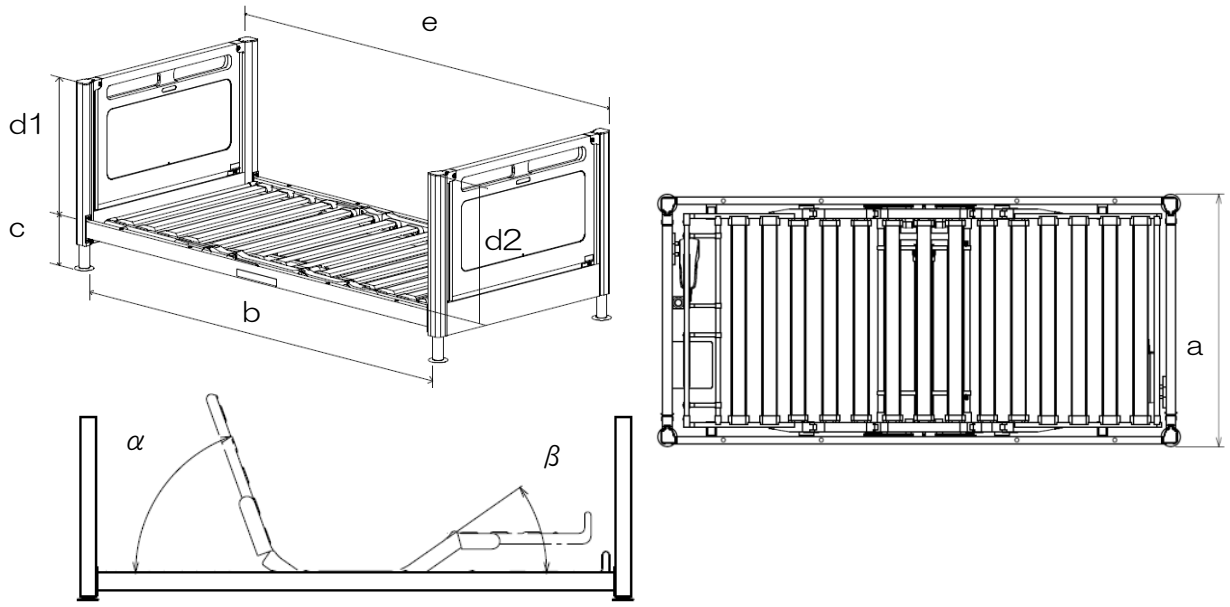
10-5．サイドフレームを取り外す
サイドフレームの上部の固定ボルト４ヶ所を取り外します。次にサイドフレームを片方ずつ持ち上げるように取り外します。

10-6．手元スイッチを取り外す
接続ケーブルから手元スイッチの端子を抜き、取り外します。先に外した延長ケーブルと一緒にまとめておきます。

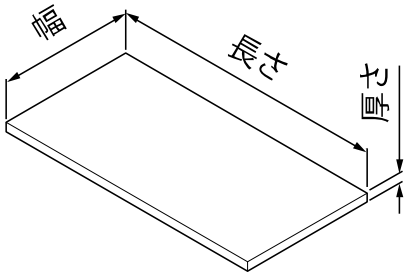
以上で分解作業は終わりです。取り外した部品はなくさないように大切に保管してください。

11. 仕様

電気定格	定格電圧	AC100 V
	定格周波数	50／60 Hz
	定格消費電力	225W
ベッド寸法	a：幅（最大外径寸法）	1030mm
	b：脚座間の長さ（脚部の取り付け位置の距離）	FLB-05R　：2050mm FLB-05RS：1910mm
	c：ボトムの高さ（床からボトム上面まで）	110～240～610mm ストローク：500mm
	d1：ボトム上面からヘッドボード（フレーム）の上端まで	626mm
	d2：ボトム上面からフットボード（フレーム）の上端まで	626mm
	e：長さ（最大外径寸法）	FLB-05R　：2140mm FLB-05RS：2000mm
	α：背部の最大傾斜角度	75 度（±3 度）
	β：脚（ひざ）部の最大傾斜角度	35 度（±3 度）



本体の形状

材質		鋼管、鋼板、アルミ ポリエステル樹脂系粉体塗装 樹脂成型品
重量		FLB-05R　：約 70kg FLB-05RS：約 68 kg
電源コード長さ		コントロールボックス出口より 4m
安全使用荷重		1700N
耐用期間		8 年（ただし、消耗部品は除く） 注意：耐用期間は保証期間ではありません。
保護等級		IPX4
動作音		80dB 以下
対応マットレス の厚さ、重量		長さ　：1950mm（FLB-05R） 1810mm（FLB-05RS） 幅　：910mm 最低厚さ：30mm 最大厚さ：190mm 重量　：20kg 以下

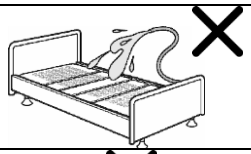
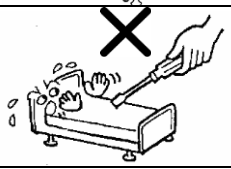
※ マットレス重量が 20ｋｇを超える場合は、使用者の体重との合計が 155ｋｇ以下で使用してください。ただし、使用者の制限体重は 135ｋｇです。

12.　お手入れ方法（清掃・消毒）

● 清掃する場合

乾いた柔らかい布で拭いてください。しつこい汚れがある場合は、家庭用クリーナー、または石鹸水で拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。

揮発性のものは絶対に使用しないでください。変質、変色の原因となります。

⚠警告		
お手入れの前には、電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電する恐れがあります。		
電源プラグにホコリが付着しないように、定期的にコンセントから抜いて、乾いた布で刃およびその取り付け面を拭いてください。 電源プラグにホコリが付着していたり、コンセントにしっかり差し込まれていないと感電や火災の原因になります。		
お手入れの際、直接、水をかけて洗わないでください。 感電、異常動作の原因になります。		
ご自身で分解、修理、改造はしないでください。 火災、感電、異常動作の原因になります。		

⚠注意		
定期的に点検を行ってください。ネジ類がゆるんでいる場合は締めなおしてください。また、破損状態での使用を避けてください。 事故の原因となります。		
ベッドを保管するときは、背ボトムと脚ボトムを平らにし、ベッドを一番低い位置にしてください。また電源プラグをコンセントから抜いてください。 下げた位置で保管しないと故障の原因となります。		
汚れを拭き取るのに、シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤を含んだものおよび、研磨剤、漂白剤などは使用しないでください。市販のクリーナーを使用するときは、一度目立たない所で試してから使用してください。 変色、変質、商品を傷める原因となります。		
高温、多湿、ホコリの多い場所で保管しないでください。 故障の原因となります。		
ベッドは横に倒したり、立てかけたりしないでください。 事故や故障の原因となります。		

● 消毒する場合

必ず下記の消毒剤を指定の濃度にし、各消毒剤の取扱説明書などに従ってご使用ください。

◆消毒用エタノール	・・・・・ 76.9～81.4%
◆塩化ベンザルコニウム	・・・・・ 0.05～0.2%
◆塩化ベンゼトニウム	・・・・・ 0.05～0.2%
◆グルコン酸クロルヘキシジン	・・・・・ 0.05%
◆次亜塩素酸ナトリウム	・・・・・ 0.02～0.05%
◆加速化過酸化水素水	・・・・・ 0.5%

⚠注意
消毒剤を使用する場合は必ず指定の薬品を使用してください。 指定外の薬品の使用は破損や変質の原因となります。
オゾン殺菌器、オートクレープ滅菌機などには対応していません。 故障、変形、破損の原因となります。

13.　点検

長期にわたり使用する電動ベッドとサイドレールなどの付属品の本来の性能を維持するには、適切なメンテナンスが必要になります。ベッドの状態を一番よく把握しなければならないのはご購入者様ご自身であり、日頃の点検などの適切な管理が必要となります。

多くの部品の集まりであるベッドは、使用するにつれてその時間の経過とともに部品の劣化や摩耗が進みます。点検を行うことにより、大きなトラブルを防止し安心して使用することが出来ます。

13-1. 外観点検項目

目視あるいは手で外観の傷や変形などを確認する点検です。

- ヘッドボードユニット、フットボードユニット、ギャッチフレーム、サイドフレーム サイドレール、ベッド用グリップに異常がないか確認します。
- 固定ボルトが確実に取り付けられているか確認します。
- ラベルが貼り付けられているか、取扱説明書が保管されているか確認します。
- 電装部品（手元スイッチ、電源コード、コントロールボックス）のコードやケースに損傷があるかを確認します。

13-2. 作動点検項目

本体をコンセントに接続し手元スイッチにより各種動作を行います。

- パイロットランプは仕様どおり点灯するか確認します。
- 機能どおり動作するか確認します。
- 動作時に異音の発生がないか確認します。

ベッドの使用中や点検時に不具合を発見された時には、まずはベッドのご使用を控えるか場合によっては使用を一時中断し、速やかに販売店又は弊社お客様相談室に故障状況を報告し、修理を依頼することが適切です。

ご自身による故障の修理などは絶対に行わないでください。

14.　こんなときには

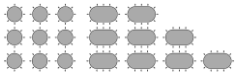
ベッドが動かない場合、修理を依頼する前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。チェックしても正常に動作しない場合は、ベッドの操作を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お客様相談室に修理を依頼してください。

症状	チェック項目	対処方法
手元スイッチのボタンを押してもベッドが動かない（指定の動作をしない）。	電源プラグは、コンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源プラグをコンセントに差し込んでからすぐに操作していませんか？	電源プラグをコンセントに接続してから約 10 秒後に操作してください。
	電源コード、手元スイッチのコードや端子は破損していませんか?	電源コード、手元スイッチのコードや端子がつぶれていたり、被覆が破れていると危険です。修理を依頼してください。
	手元スイッチの裏側の誤操作抑制スイッチのマークが「 」の位置になっていませんか？	切替レンチで、誤操作抑制スイッチのマークを「 」の位置にしてください。
ベッドが昇降しない。	ギャッチフレームとヘッドボードユニット・フットボードユニットとの接続プラグは確実に接続されていますか？	プラグを確実に差し込んでください。エラーモードの場合は、フロアーポジションボタン、又は昇降ボタン上下同時長押しして、ベッドを最低位置まで下げてください。
	ベッドの周囲に障害となるモノがありませんか？	障害となるモノを取り除いてください。
	ベッドが過負荷になっていませんか？	安全使用荷重を確認して使用してください。
	手元スイッチで操作中、パイロットランプが点滅し、警告音が鳴っていませんか。	フロアーポジションボタンを長押しして、リセットしてください。その後、電源プラグをコンセントから抜き、差し込みなおして、リセットを完了させてください。

ボトムが水平にならない。	ボトムとサイドフレームの間に掛け布団や毛布などが挟まれていませんか？	ボトムを少し持ち上げ、挟まれたモノを取り除いてください。
ベッドがガタつく。	サイドフレームを固定している固定ボルトがゆるんでいませんか？	固定ボルトを増し締めしてください。
	ヘッドボード、フットボードは正しく取り付けられていますか？	ヘッドボード、フットボードを正しく取り付け直してください。
ベッドの動きが正常でない。	ベッドは確実に組み立てられていますか？	販売店または弊社お客様相談室までお問い合わせください。
	電源コード、手元スイッチのコードは破損していませんか？	電源コード、手元スイッチのコードがつぶれていたり、被覆が破れていると危険です。 電源プラグをコンセントから抜き、修理の依頼をしてください。
ベッド昇降時に大きな異音がする。	構造上、ベッドの昇降時には動作音（モーター音等）がします。 異音と思われるような大きな音がした場合、販売店または弊社お客様相談室にお問い合わせください。	
ベッドを高くすると、ぐらつく。	ベッドを高くするとぐらつきが大きくなります。 機能上、問題はありませんが、気になる場合はベッドを少し低くしてご使用ください。	
ベッドから電子音が鳴り動かなくなった	ベッドに異常が発生した際に発せられる音です。次項の「エラーモードとリセット方法について」を確認してください。	

● エラーモードとリセット方法について

故障などの場合は動作が停止するのと合わせて、パイロットランプが点滅し電子音が鳴ります。エラーモードによりパイロットランプの点滅が変わります。下表のパイロットランプの点滅マークは長さと回数を表示しています。 ● 短く ⬭ は長めに点滅します。点滅はリセットが完了されるまで繰り返され、電子音はエラー発生時に鳴ります。

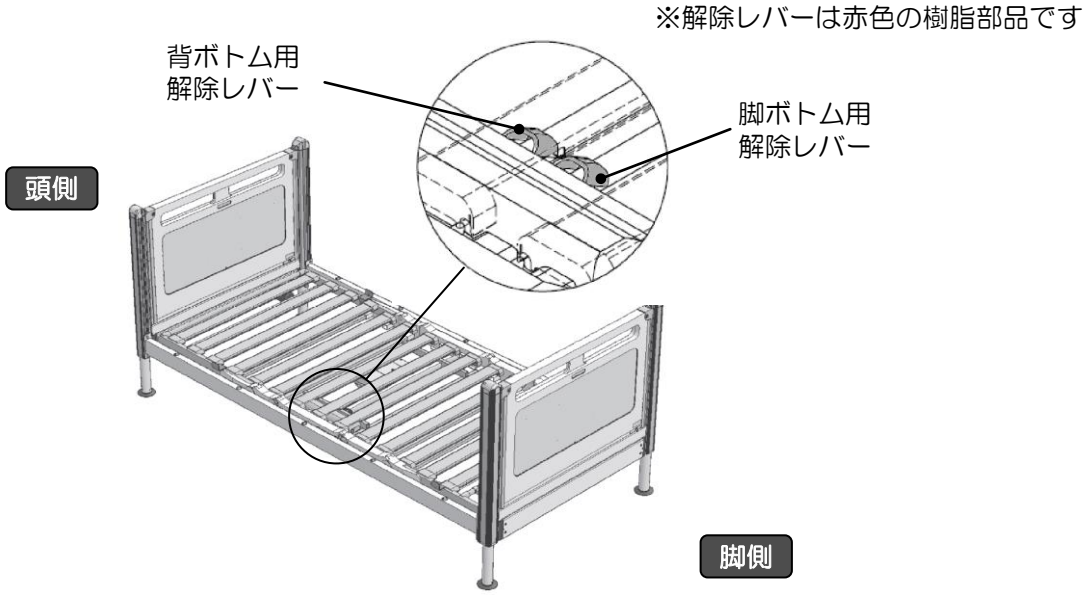
エラーモード	原因	リセットの方法
エラーモード① 光： ● ● ● ⬭ 音： 長め 3回	ヘッドボードユニットとフットボードユニットの高さが 10mm以上ずれた場合。	フロアーポジションボタンを押し、最低位置まで下げると、リセットされます。
エラーモード② 光：下のパターンのいずれか  音： 長め 2回	機械的故障が発生した場合。	フロアーポジションボタンを押します。ベッドが最低位置まで下がり、リセットされます。 もし、ボタンを押して直ぐにエラーモードになった場合は、ベッドの電源を抜き販売店または弊社お客様相談室へ連絡してください。 ※ 繰り返しフロアーポジションボタンを押すと、ベッドが斜めになり寝られない状態になることがあります。
エラーモード③ 光： ⬭ ⬭ ⬭ ⬭ 音： 短め 2回	ベッドに定格以上の重さを加えた時など。	手元スイッチのボタンから手を３秒以上離すことで解消されます。 負荷を取り除いてからご使用ください。
エラーモード④ 光： ● ● ● ⬭ ⬭ ⬭ ⬭ ⬭ 音： 短め 2回	動作時間が連続３分を超えた場合	十分な時間を置くとで解消されます。
リセット完了時には、パイロットランプが３回点滅（⬭ ⬭ ⬭）し、電子音が短く１回鳴りリセットが完了したことをお知らせします。		
※ リセット終了後、手元スイッチのパイロットランプの点滅、電子音が消え、ベッドが正常に動作することを確認してから使用してください。		

⚠注意	
ベッドが最下位置まで下降するため、ベッドの下に物や体の一部がないことを確認してから操作してください。 挟み込みによりケガや故障の原因となります。	

15.　停電により停止したときに

（解除レバーの位置）

下図の位置に解除レバー（背ボトム用、脚ボトム用）があります。停電や故障により、背ボトムや脚ボトムが上がった状態のまま停止した場合、解除レバーを操作することで、背ボトムや脚ボトムを水平に戻すことができます（上下昇降の機能には対応していません）。

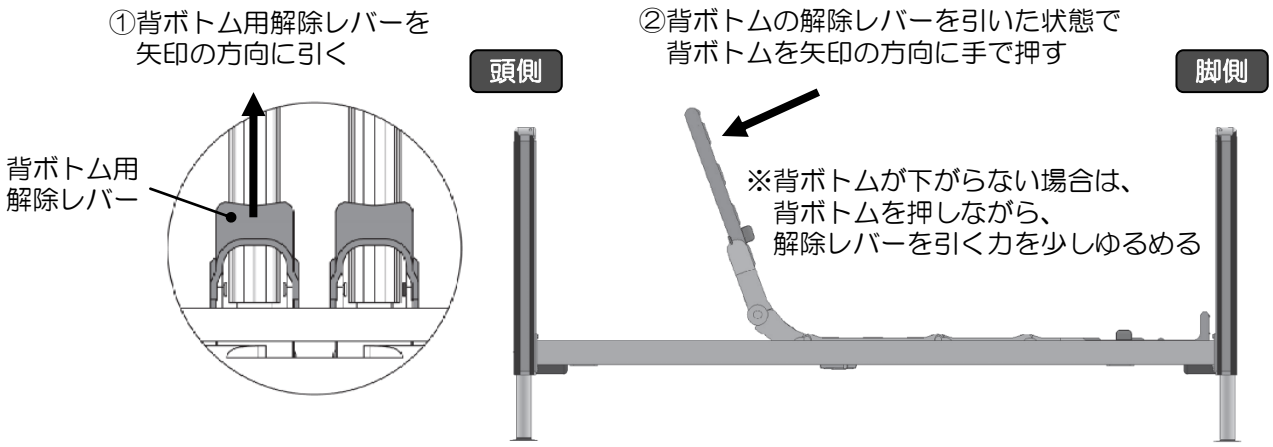


（ボトムを水平にする前の準備）

ご利用者様の安全の確保のため、ご利用者様が離床した状態で作業を行います。マットレスをベッドから取り除きます。

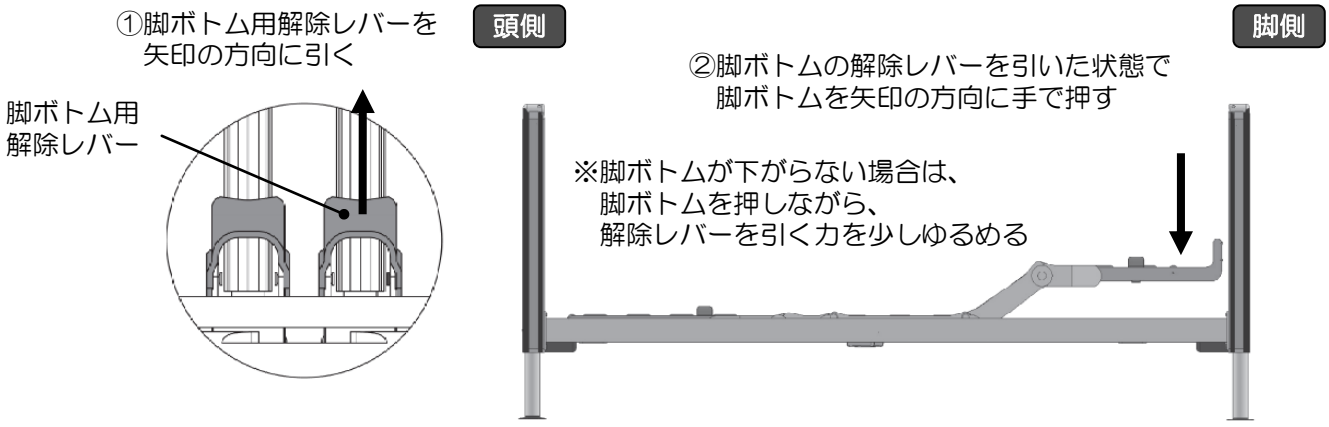
（背ボトムを水平にする場合）

下図のように背ボトムの解除レバーを矢印の方向に引きます。背ボトムの解除レバーを引いた状態で背ボトムを矢印の方向に手で押します（解除レバーを強く引きすぎると背ボトムが下がらない場合があります。その場合は、背ボトムを押しながら解除レバーを引く力を少しゆるめてください）。



（脚ボトムを水平にする場合）

下図のように脚ボトムの解除レバーを矢印の方向に引きます。脚ボトムの解除レバーを引いた状態で脚ボトムを矢印の方向に手で押します（解除レバーを強く引きすぎると脚ボトムが下がらない場合があります。その場合は、脚ボトムを押しながら解除レバーを引く力を少しゆるめてください）。



※停電が終了したら、手元スイッチの背・脚上げ同時動作ボタンの下ボタンを押し、一旦平らな状態にしてから使用してください。

16.　アフターサービスについて

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に取扱説明書をよく読み、再度点検の上、なお異常がある場合は、販売店または弊社お客様相談室へ連絡してください。

ご連絡いただきたい内容・・・住所、氏名、電話番号、型式名、販売店、
お買い上げ日、故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

補修用性能部品の保有期間

弊社は本商品の補修用性能部品を、製造打ち切り後８年間保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様相談室

弊社の商品は厳格な検査を経て納入致しておりますが、万一不具合な点がございましたら、販売店または弊社お客様相談室までお問い合せください。

お客様相談室　　フリーダイヤル：０１２０－３９－２８２４

受付時間：月～金曜日　９時 ～ １２時　１３時～１７時

（土、日、祝祭日、年末年始、弊社指定の休日などは除く）

製造元：フランスベッド株式会社

〒１９６－００２２　東京都昭島市中神町１１４８番地５

17.　保証書

保　証　書

保 証 期 間	お買い上げの日より　：　1年
お買い上げ日	年　月　日

お客様

ご芳名　様

〒 □□□-□□□□

ご住所

TEL

販売店

店名・住所

見本

法的責任

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問合わせ下さい。

修理の記録

商品の名称

表紙に記載しています。

保証の対象

本体のみ行います。

保証の態様

(1) 保証期間内において、この製品に製品上の欠陥が発見された場合には無償修理をいたします。

(2) ご用命の際は、お買い上げの販売店又は相談窓口にご連絡下さい。

(3) 遠隔地等については、旅費を申し受けることがあります。

保証を受けるための条件

保証を受けるためには、保証書及び納品書又は領収書を提示して下さい。

※ 本保証書と納品書又は領収書を併せて保管をお願いします。

保証の適用除外

(1) 保証書及び納品書又は領収書のご提示がなかった場合。

(2) 誤使用或いはお取扱い上の不注意や過失によって故障が生じた場合。

(3) 本製品をご使用者自身又は他業者により変造・改造された場合。

(4) ご購入後の移動・輸送によって故障又は損傷が生じた場合。

(5) 火災・天災・地変によって故障又は損傷が生じた場合。

(6) 本製品の製造上に起因した欠陥であるか、確認できない場合。

※ 上記項目については有償修理になります。

設置場所

本保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan

免責

本製品の故障の放置又はその使用によって生じた、直接、間接の損害についての保証は、一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

フランスベッド株式会社
〒196-0022 東京都昭島市中神町1148番地
TEL　042（543）3111（代表）